

第 1 章 市民意見募集結果

1 市民意見募集の概要

(1) 目的

ベイブリッジ内側の内港地区の将来像の検討及び山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に向け、市民等の皆様からの意見募集を行い、港湾計画の改訂や山下ふ頭再開発の事業計画の検討に活用していくことを目的とします。

(2) 募集期間

令和3年12月23日（木）から令和4年6月30日（木）まで

(3) 募集方法

リーフレット付属の専用はがきやインターネットの入力フォームによるアンケート形式とします。ただし、これによらない自由な意見・アイデアも受け付けます。

(4) 回答数

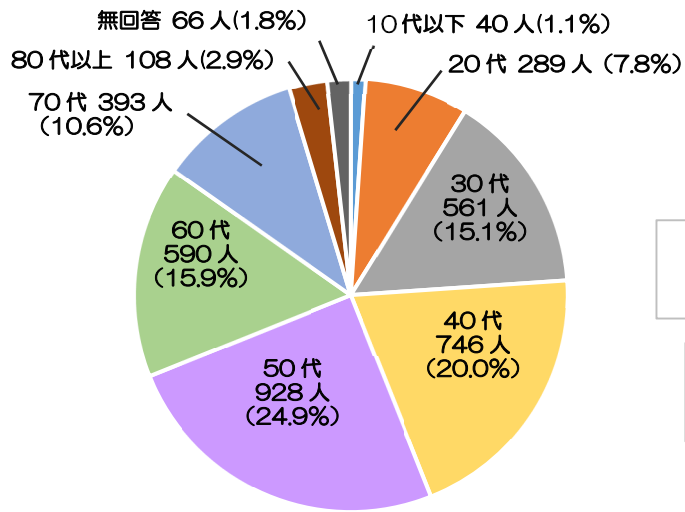
3,721件 ※うち、自由意見があったもの：1,942件

【参考】提出方法の内訳

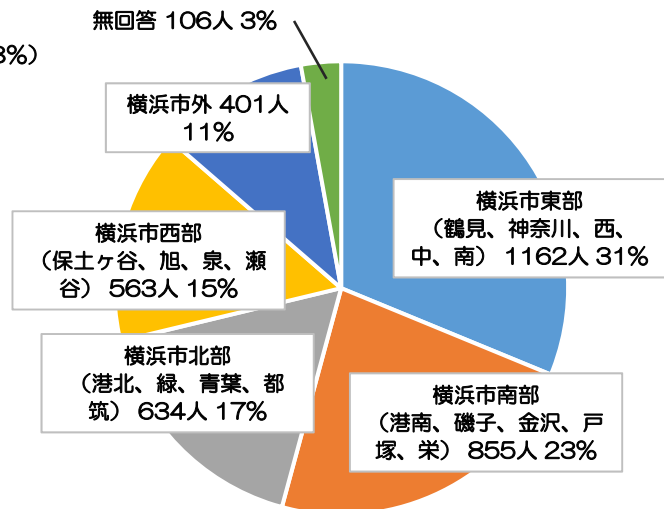
専用はがき	597件	
インターネット入力フォーム	3,049件	(うち、eアンケート 1,529件)
電子メール等	75件	(うち、市民からの提案等の広聴事業経由 16件)

(5) 回答者の属性

図表 1-1 年代別割合



図表 1-2 居住地別割合



図表 1-3 年代、居住地別人数一覧

	～10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	(無回答)	小計
鶴見区	1	8	46	35	31	35	32	3	2	193
神奈川区	2	14	30	62	68	40	19	6	4	245
西区	3	17	30	40	43	29	11	1	2	176
中区	3	23	43	68	104	66	25	7	5	344
南区	5	20	21	48	43	46	19	2	0	204
港南区	1	18	29	39	44	45	27	13	2	218
保土ヶ谷区	1	14	19	36	53	38	27	9	1	198
旭区	1	9	19	34	48	24	33	6	0	174
磯子区	3	11	16	27	46	23	17	10	2	155
金沢区	0	7	13	30	43	37	34	4	0	168
港北区	0	17	37	61	70	36	26	5	4	256
緑区	5	4	12	26	29	19	8	7	4	114
青葉区	2	6	10	27	44	23	23	8	1	144
都筑区	0	13	12	23	35	20	13	3	1	120
戸塚区	1	13	24	33	63	42	29	9	3	217
栄区	2	2	12	23	23	17	13	5	0	97
泉区	4	11	8	18	26	23	16	3	1	110
瀬谷区	0	5	5	11	27	12	14	7	0	81
横浜市外	6	76	105	105	87	13	7	0	2	401
(無回答)	0	1	70	0	1	2	0	0	32	106
小計	40	289	561	746	928	590	393	108	66	3,721

2 市民意見募集の集計・分析方法

(1) 単純集計、クロス集計

各問における選択肢回答について、集計を行いました。また、回答者の年代や居住地による傾向を把握するため、問2～問4についてクロス集計を行いました。

(2) 自由意見分析

自由意見については、その具体的内容の傾向を把握するとともに、単純集計、クロス集計の結果を具体的に補足するため、以下の手順で分析を行いました。

- ア 自由意見を一文ずつに分け、アフターコーディング^{※1}の手法により、問2～問4ごとに合致するものを抽出
- イ 問ごとに抽出した一文について、テキストマイニング^{※2}の手法により、出現頻度の高い単語を抽出
- ※1 アフターコーディングとは
自由意見に対して類似の意見を少数のカテゴリーに振り分ける手法。定性的な情報を定量的に分析することが可能となる。
- ※2 テキストマイニングとは
文章を単語で区切り、それらの出現の頻度、相関などを解析することで有用な情報を、明確化する分析方法。

内港地区に関する意見（問1）は、全体3,541件のうち137件（3.9%）と極めて少数であり、適正な評価ができないため、問2～問4について分析を実施しました。

図表 2-1 抽出先の内訳

抽出先	文の数	割合
問1（内港地区の将来像）	137	3.9%
問2（山下ふ頭の再開発のイメージ）	1,079	96.1%
問3（山下ふ頭にふさわしい導入機能）	1,272	
問4（山下ふ頭の再開発に取り入れる視点）	1,053	
合計	3,541	100%

問2～問4に合致しないご意見については、その他の意見として分類しました。

インターネット入力フォームや専用はがきによらない形でいただいた意見については、自由意見の一つとして扱い、分析の対象としています。また、ご提案いただいた事業の具体的なアイデア等については、今後の事業計画の検討にあたり、参考とさせていただきます。

3 各問の集計・分析結果

問1 「内港地区の将来像」について

【市民意見の傾向（集計結果を踏まえた見解）】

全体的に「海・みなと」「賑わい・楽しさ」「国際性」が多く見られました。

瑞穂ふ頭や大黒ふ頭、東神奈川臨海部周辺では「海・みなと」、横浜駅周辺では、「賑わい・楽しさ」に加えて「交流・出会い」、みなとみらいでは「賑わい・楽しさ」に加えて「国際性」、関内・関外では「歴史性」や「文化・芸術性」が上位となり、地区ごとに異なる将来像がイメージされる傾向となりました。

それぞれの地区の特徴を捉えながら、機能の連携や分担を図り、山下ふ頭も含めた内港地区全体で相乗効果が得られるよう、まちづくりを進めていくことが重要。

(1) 単純集計の結果

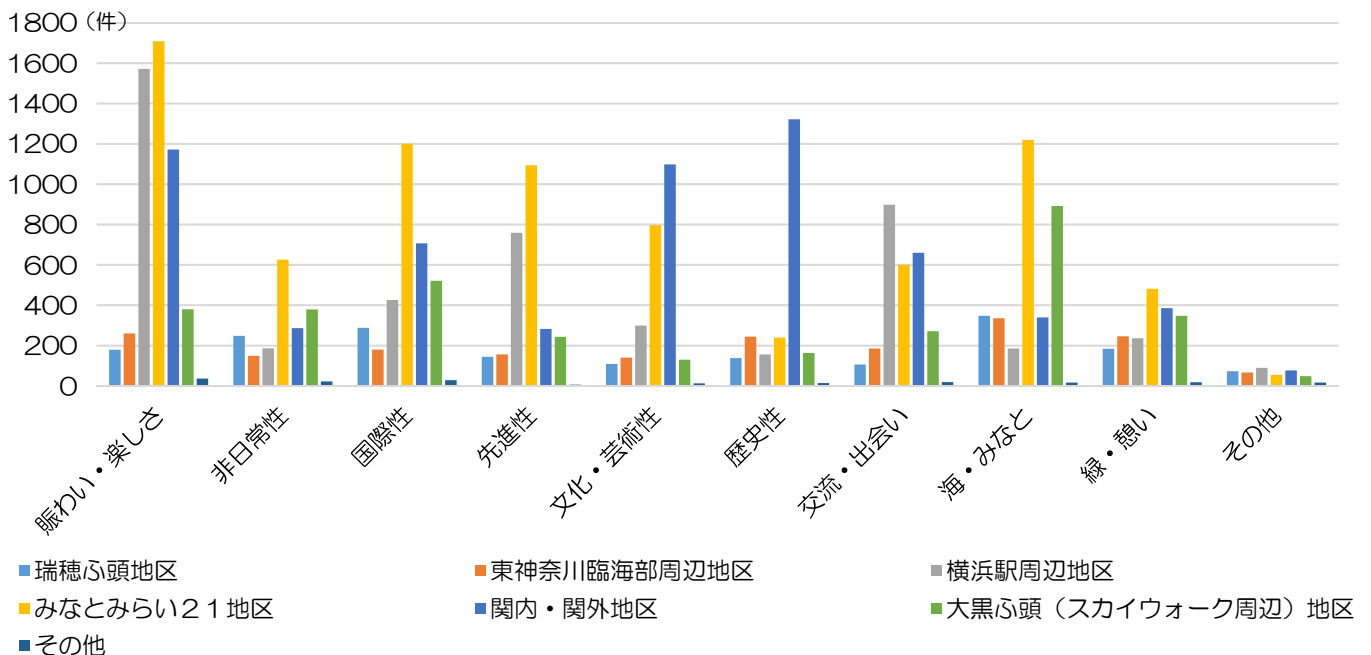
各地区で回答数の多い将来像のイメージ上位3つは図表 3-1 のとおりです。全体的に「海・みなと」「賑わい・楽しさ」「国際性」が上位に入っています。

選択肢回答の集計結果については、図表 3-2 のとおりです。

図表 3-1 将来像のイメージ（上位3つ）

	瑞穂ふ頭	東神奈川臨海部周辺	横浜駅周辺	みなとみらい21	関内・関外	大黒ふ頭(スカイウォーク周辺)
1	海・みなと	海・みなと	賑わい・楽しさ	賑わい・楽しさ	歴史性	海・みなと
2	国際性	賑わい・楽しさ	交流・出会い	海・みなと	賑わい・楽しさ	国際性
3	非日常性	緑・憩い	先進性	国際性	文化・芸術性	賑わい・楽しさ

図表 3-2 将来像のイメージ（各地区一覧）



(2) 主な自由意見（抜粋）

ア 瑞穂ふ頭地区

- ・瑞穂ふ頭地区は自衛隊の船舶が停まる場所に活用するのが望ましい
- ・瑞穂埠頭地区は第2のみなとみらいのようなオフィス、居住、観光などが一体となった新都心地区として欲しい
- ・瑞穂ふ頭は近寄りがたく、大黒ふ頭はあくまでも物流の拠点であり、再開発というより、それぞれの役割の機能強化をしていった方が良いのではないか
- ・ベイサイドエリアを東神奈川や瑞穂ふ頭エリアに広げる取り組みをしてほしい

イ 東神奈川臨海部周辺地区

- ・東神奈川地区の卸売市場の存在を初めて知ったので、新エリアで食のマルシェ・キッチンカー・体験教室なども絡めて、認知度UPを
- ・飛行機での集客を考えるなら東神奈川臨海部か瑞穂埠頭を中心に再開発すべき
- ・東神奈川には中央卸売市場があるので、今より行きやすい食堂やお店、食の体験ができるところがあると嬉しい
- ・東神奈川臨海部は、近世末から近代末の東海道が通り、横浜開港までは地域内でもっとも栄えた歴史的エリア
- ・老朽化した東神奈川駅西口の再開発の計画を希望する

ウ 横浜駅周辺地区

- ・特に横浜駅はエキサイト横浜計画をスケールを落とさず実現させて欲しい
- ・西横浜／戸部地域は駅（戸部一日ノ出町、西横浜、平沼橋）が小規模（改札が一つで駅ビルも一切ない）で開発がまだ進んでいない一方、徒歩・タクシーで横浜駅・みなとみらい・海岸通り地域にアクセス可能という点でも将来性がある
- ・横浜駅周辺は一步駅の外に出るとポイ捨てなど治安が良くないと感じるため、もう少し条例を整備して気軽に出かけられるような場所づくりをしてほしい
- ・横浜駅前も桜木町のようにおしゃれにしてほしい
- ・横浜駅直結で新しい観光地がほしい
- ・歴史的な観点で言えば、関内や関外地区の方が先に発展してきたので仕方ないと思うが、横浜駅というターミナル駅があるから、横浜市の玄関口として、何かランドマークになるものが欲しい
- ・横浜駅を含め、周辺は再開発が進む一方、ゴミゴミとして、MM地区に比べ、不潔で洗練されていない印象（特に西口）があるため、巨大ターミナル駅周辺として、もっとMM地区のようにデザインなどが統一された開発を進めてほしい
- ・横浜駅～みなとみらい～元町・中華街の回遊性を生かした街づくりを強く希望する
- ・横浜駅を中心に、東西南北をゾーニングし、過去・現在・未来を楽しめるコンセプトを明確にし、街づくりを立案する

エ みなとみらい21地区

- ・せっかくみなとみらいの街で電線・電柱を地中化したのだから、その方向性を保ち、歴史的価値に繋がるような長期的視野にたった開発を願いたい
- ・現在は MM 地区に横浜美術館が有る程度で文化的要素は薄い、エアキャビンが出来たり現代的交通面も良くなり、この新しい文化と歴史上の文化を取り入れた地域で有って欲しい
- ・みなとみらいに足を運んだ際に、カップル層が多く見受けられたので、カップル向けの施設を建設するとより多くの方に知って頂けるのではないか
- ・みなとみらい21地区や山下ふ頭地区は自然環境とDXが調和した日本にそして世界に唯一の臨海世界都市を目指してその機能と魅力作りに取り組んでほしい
- ・みなとみらい地区は古くから存在する歴史性あるモノは余り手を加えず残し新規開発エリアでは非日常・先進性ある施設の拡充など、一つに絞ってしまわずに本来あるべき姿を追求すべき

オ 関内・関外地区

- ・関内や山下公園付近は雰囲気の良い建造物が多くあるので、その景観を利用してヨーロッパの旧市街的なまちづくりをするのも面白そう
- ・関内関外は旧市中心部を取り戻し整備すべく、横浜駅地区へ一極集中が進んでしまった行政・金融・業務などの回帰促進と共に、同じく元来広域商業メインだった伊勢佐木町を広域商店街へ復活させる方策を望みたい
- ・関内地区は、緑と水の関わりがすばらしく、その関係をのばしていければよい
- ・いわゆるミナトヨコハマのイメージは昭和からかもしれないが、関内関外には開港からの歴史を物語る物、コトが多い
- ・関内地区、横浜駅地区は古い建物の高層化を推進して欲しい
- ・特に、関内・関外地区に関しては、横浜の始まりが多く、歴史的な建造物等が沢山あり、これらを将来にわたり残して行くことが、大切、是非是非保存に力を注ぎ私達の横浜を守ってほしい
- ・関内駅周辺、特に伊勢佐木町エリアは大規模な再開発が必要だと感じる
- ・関内周辺に残っている歴史的建造物のデザインがとても好き

カ 大黒ふ頭(スカイウォーク周辺)地区

- ・大黒ふ頭までの船便がほしい
- ・コットンハーバーから山下埠頭、対岸の大黒埠頭と水辺の観光資源（風景、歴史的建物、新しい商業施設）が沢山あるのに活かし切れていない感じがする
- ・大型客船の岸壁からスカイウォーク入り口を経て京浜運河入り口にかけて公園を整備し、緑と憩い、開放感、キャンプ施設、大黒地区の災害対策（避難場所）になるような整備をしてほしい
- ・大黒ふ頭あたりは車好きな人がドライブで夜景を見に行くスポットとしてのイメージもある
- ・大黒ふ頭は新たな景観と賑わいの場を創出する

問2 「山下ふ頭の再開発のイメージ」について

【市民意見の傾向（集計・分析結果を踏まえた見解）】

選択肢では、「海・みなと」「国際性」「賑わい・楽しさ」を選択した割合が多く見られました。

30代以下は「賑わい・楽しさ」、40代から70代は「海・みなと」、60代以上は「国際性」を選択する傾向にあり、また、市外在住者は市内在住者よりも「賑わい・楽しさ」「非日常性」を選択する傾向にあるなど、年代や居住地による違いも見られました。

自由意見では、横浜らしい文化や歴史、海・みなとを中心とする自然との調和、観光をテーマに子供から大人まで市民も楽しめる再開発といった意見が多い傾向となりました。

海・みなと、国際性、賑わい・楽しさをメインテーマとしつつ、文化や歴史、海と緑の調和、観光、市民も楽しめるまちづくりなどの視点を取り込むことも必要。

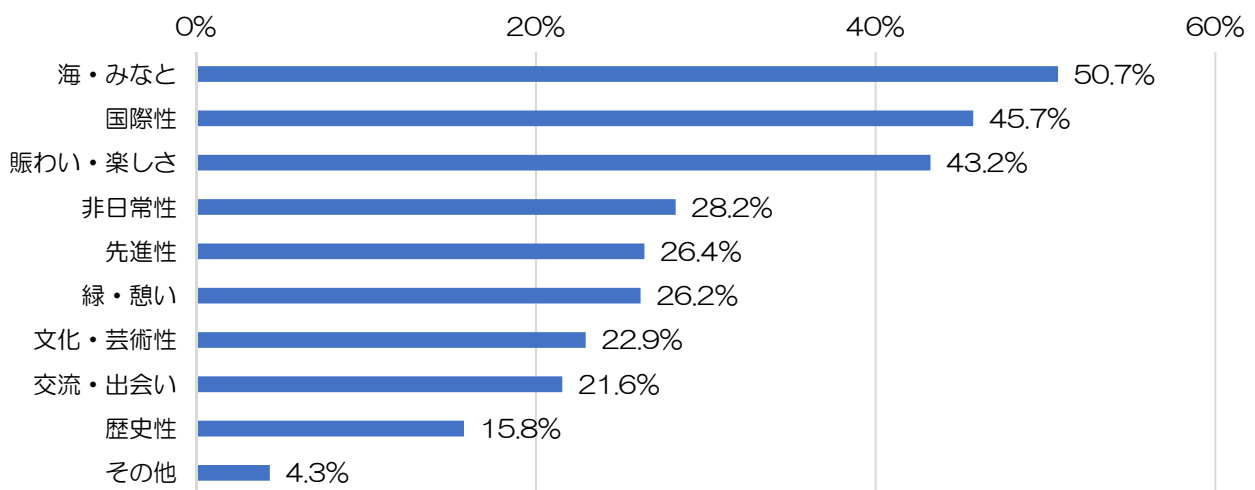
「山下ふ頭の再開発のイメージについて」の選択肢回答（3つまで選択可）の集計結果については、図表 3-3 から図表 3-7 のとおりです。

なお、グラフ横軸の割合は、アンケートによる回答件数のうち、その選択肢を回答した件数の割合を示しています。

(1) 単純集計の結果

選択肢ごとの集計結果では「海・みなと」が 50.7% を占めて最も多く、「国際性」45.7%、「賑わい・楽しさ」43.2% で続いています。

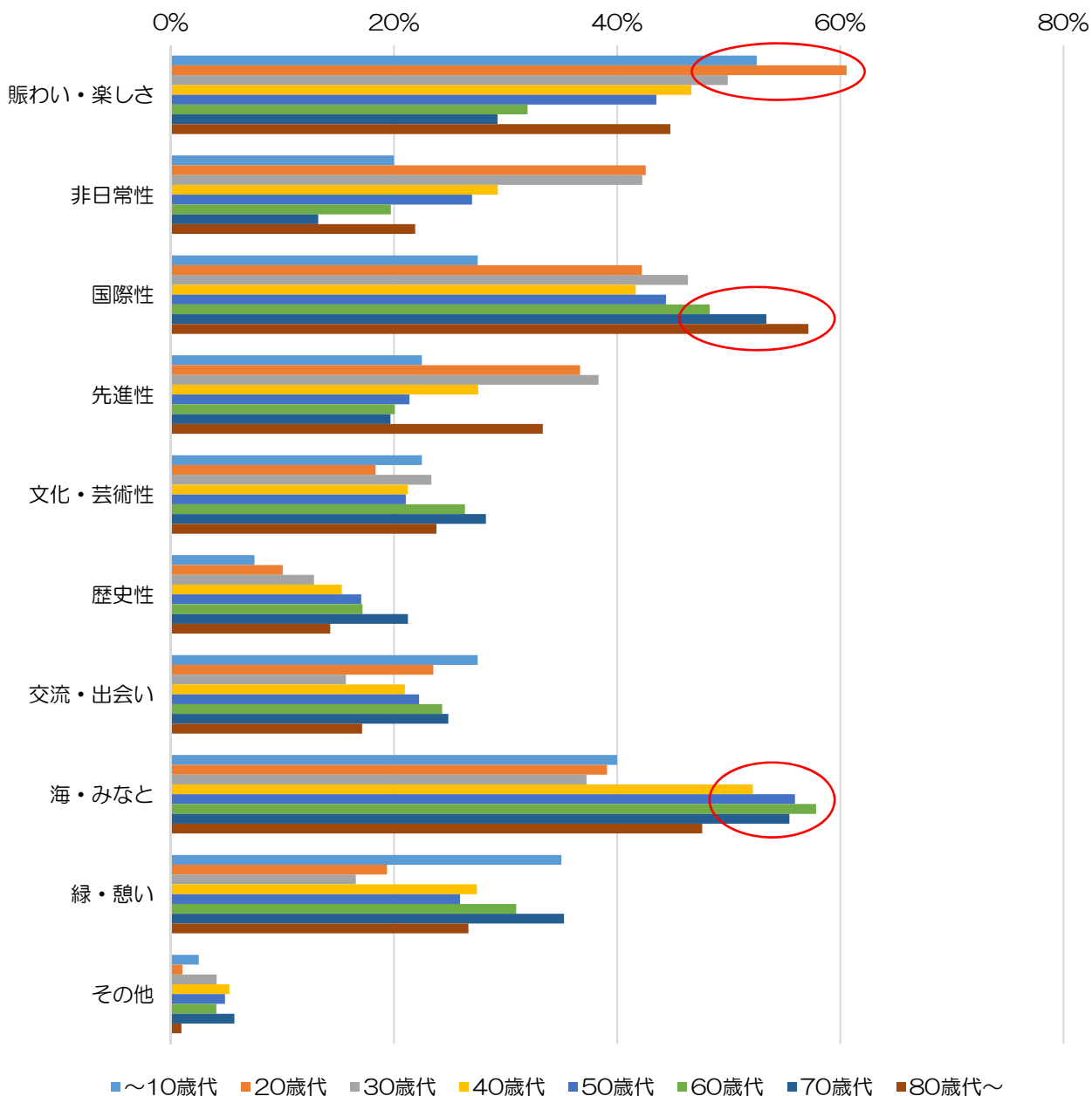
図表 3-3 再開発のイメージ



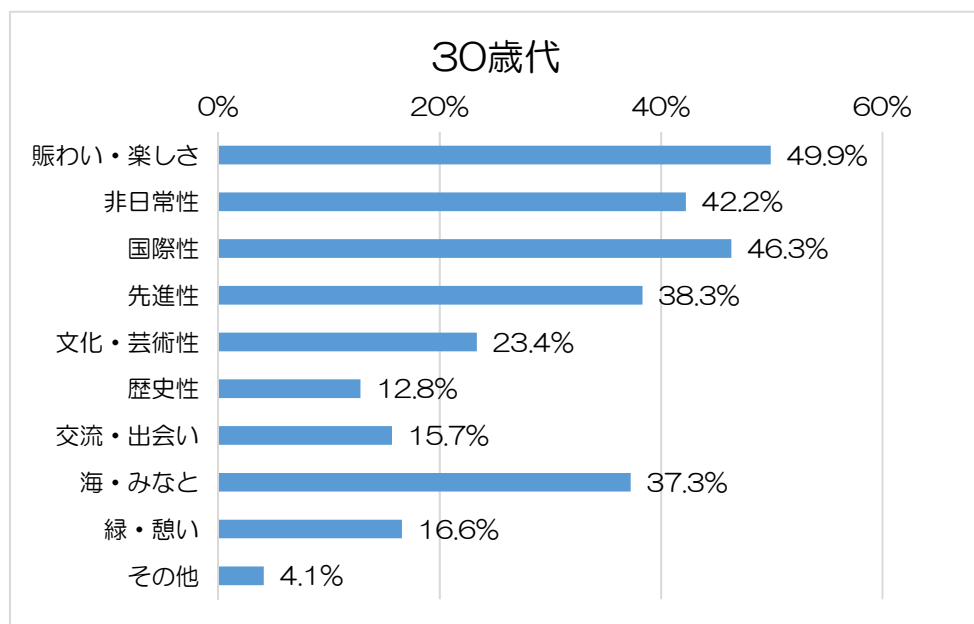
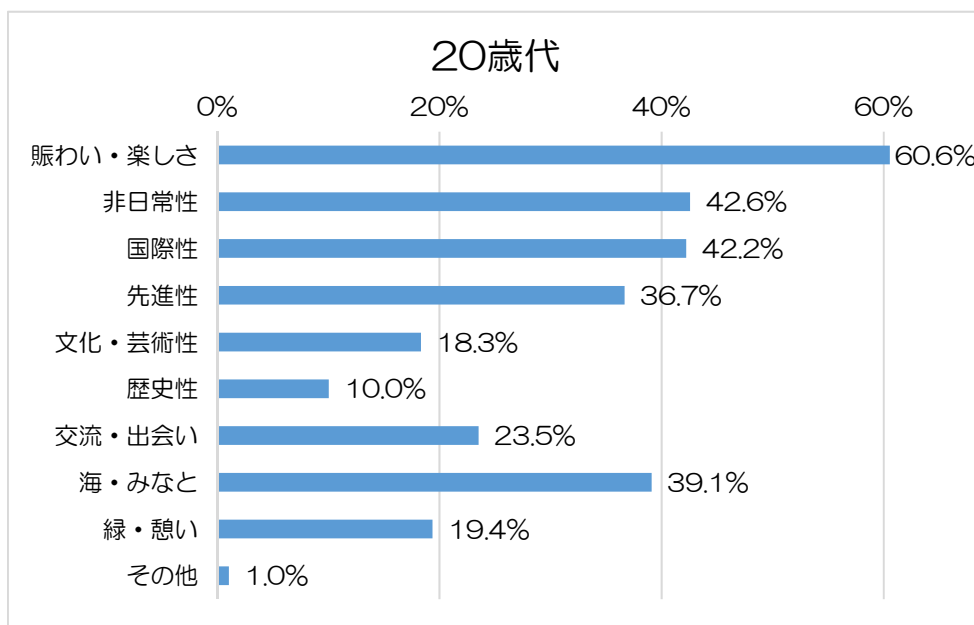
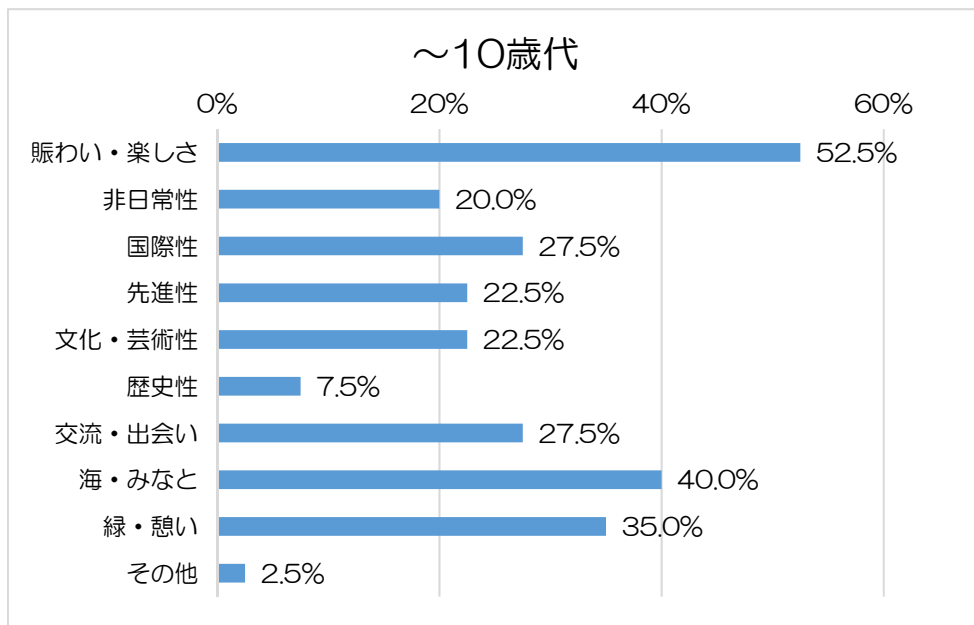
(2) クロス集計の結果（年代別）

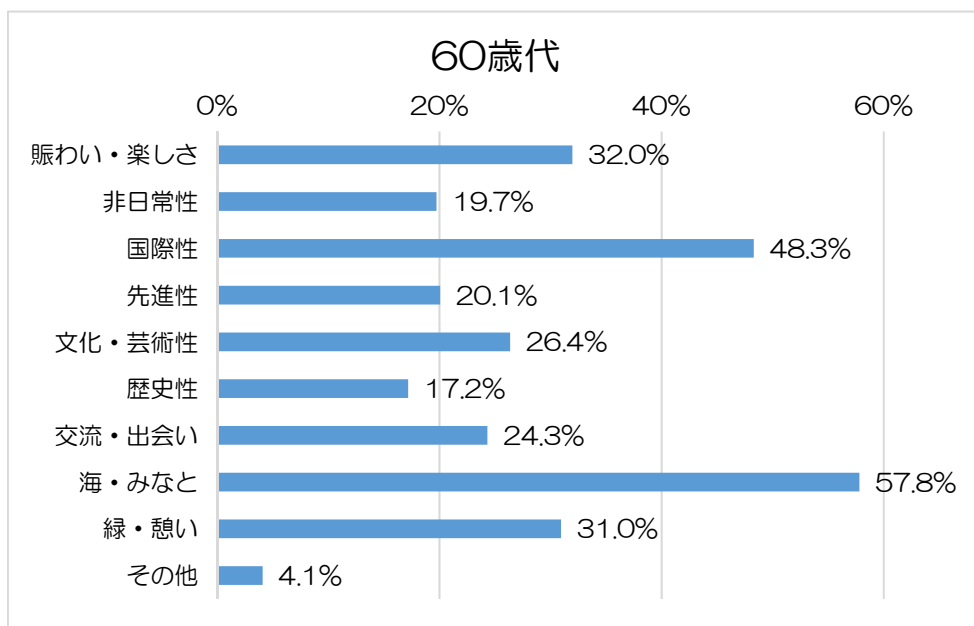
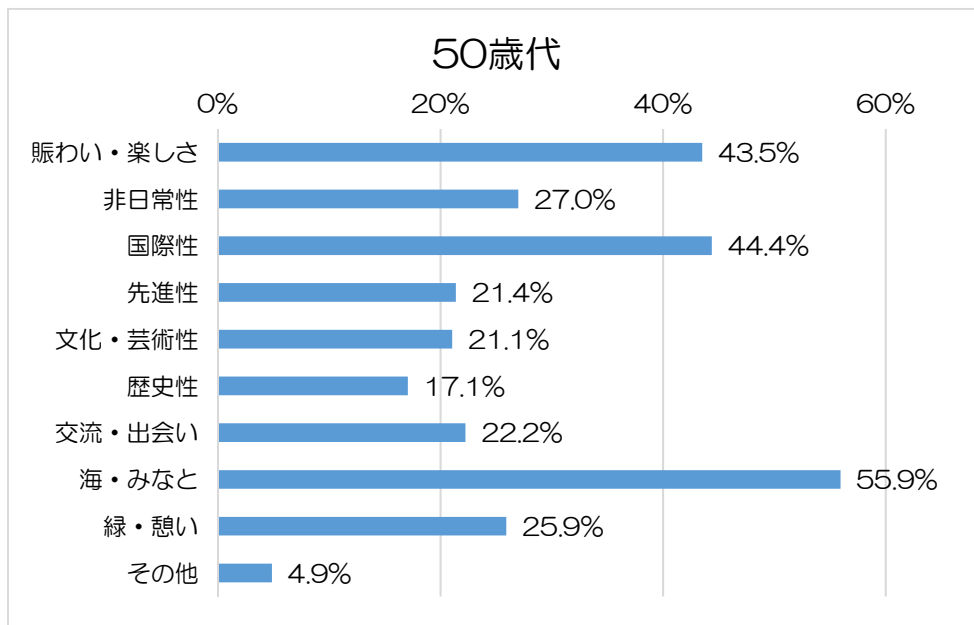
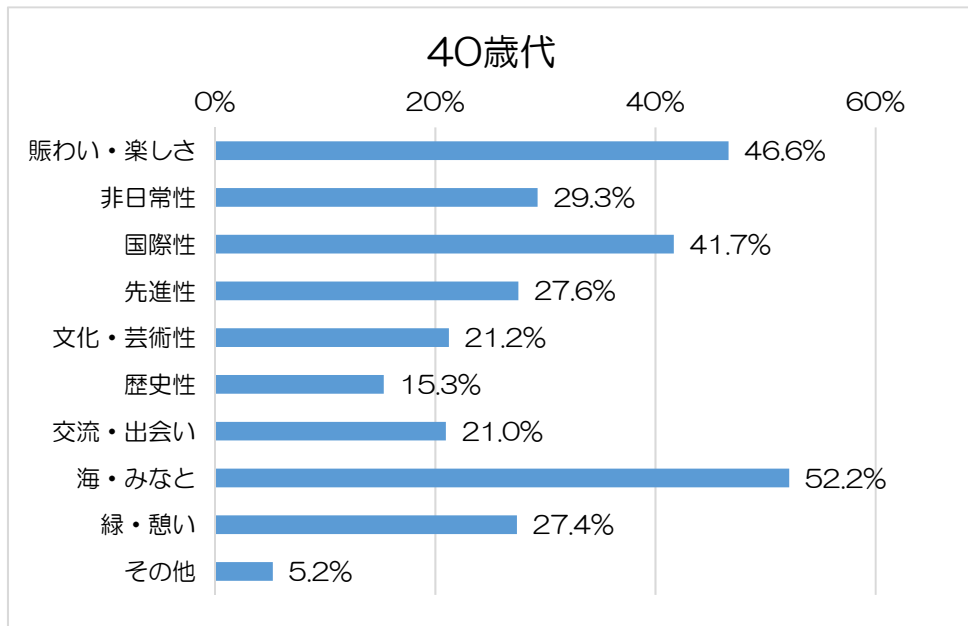
年代別の集計結果では10歳代から30歳代は「賑わい・楽しさ」を選択する割合が多く、40歳代から70歳代は「海・みなと」を選択する割合が多く、60歳代から80歳代は「国際性」を選択する割合が多くなっています。

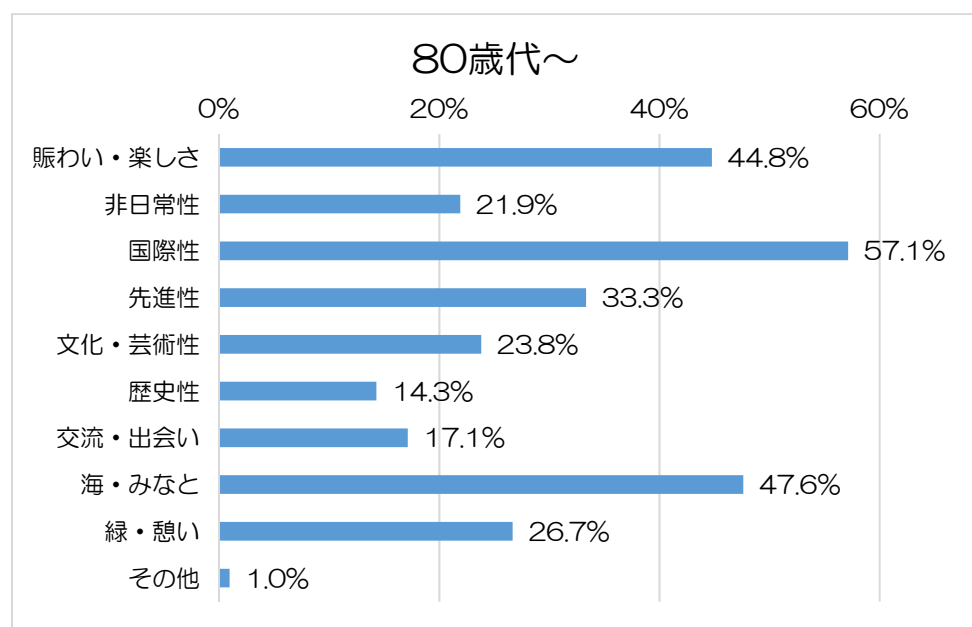
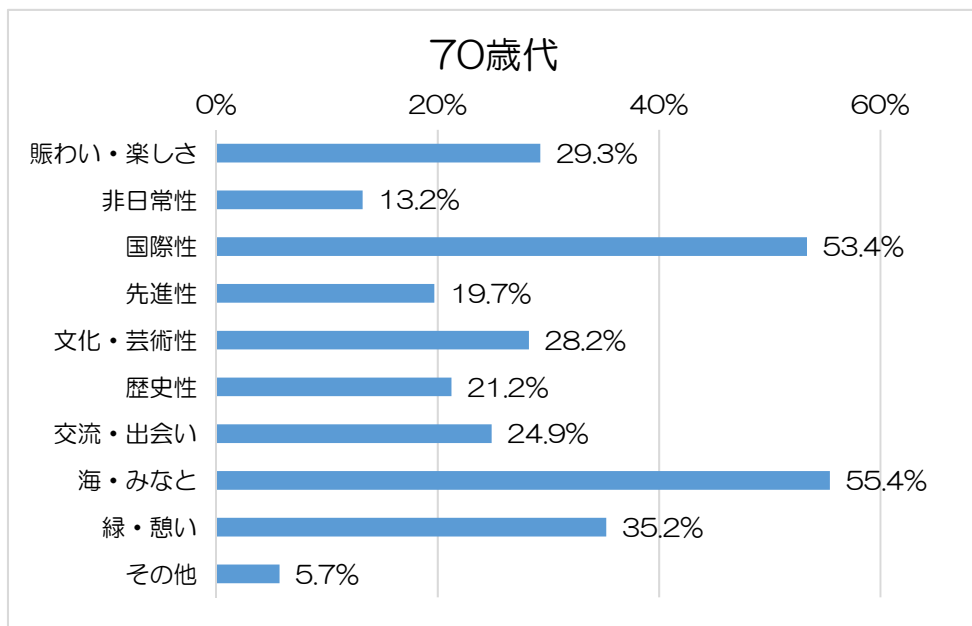
図表 3-4 再開発のイメージ（年代別一覧）



図表 3-5 再開発のイメージ（年代別）



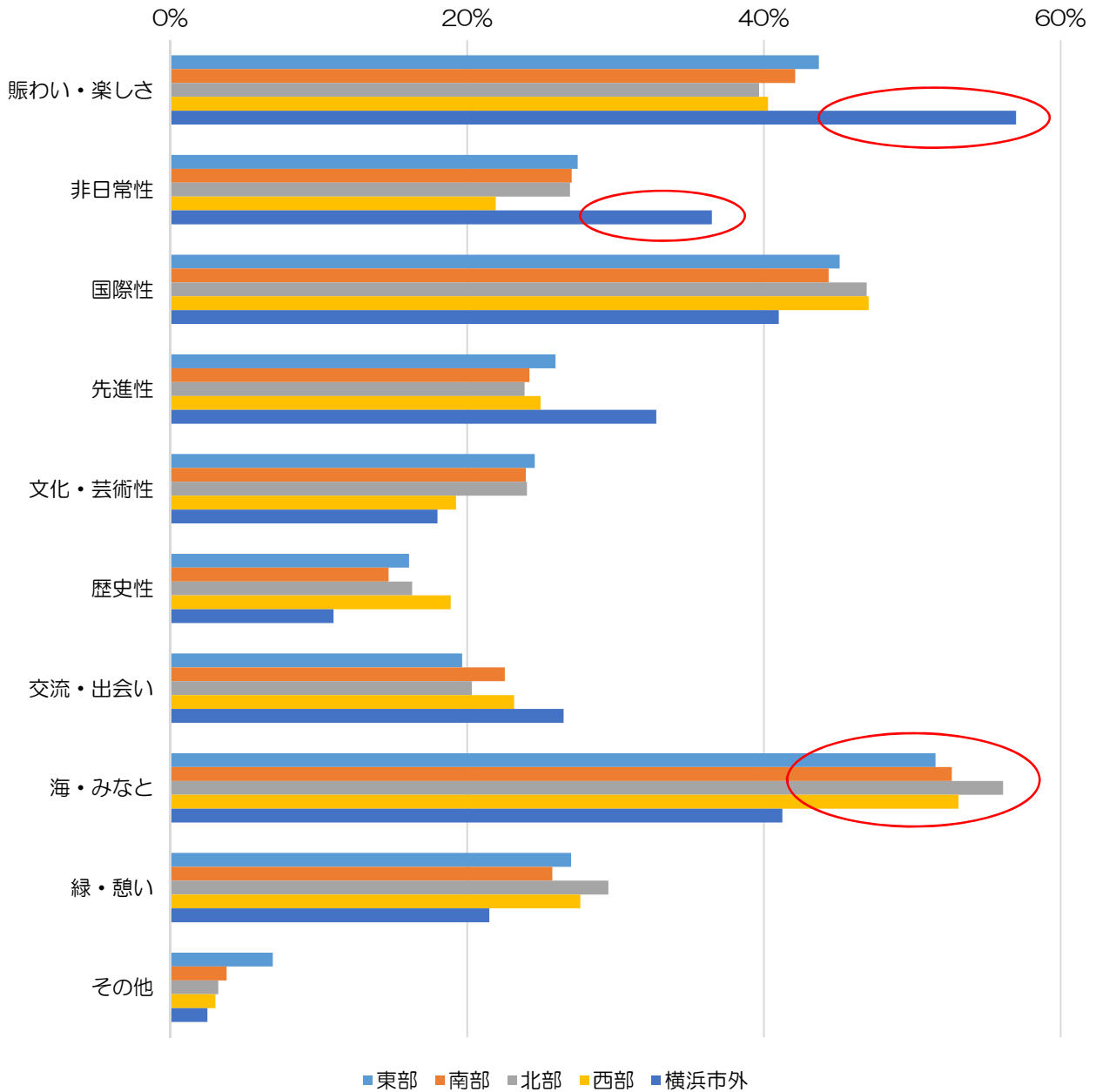




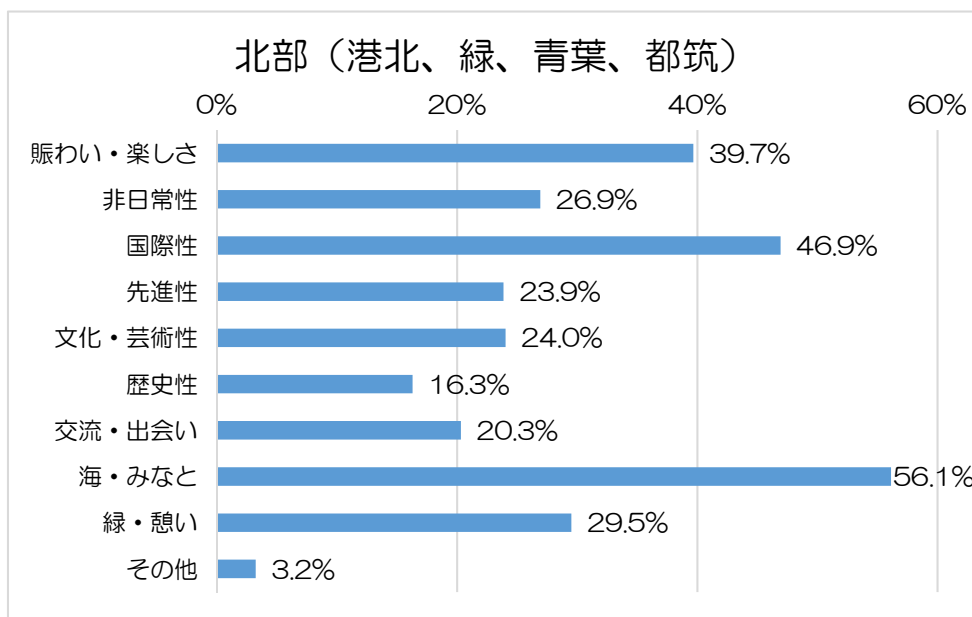
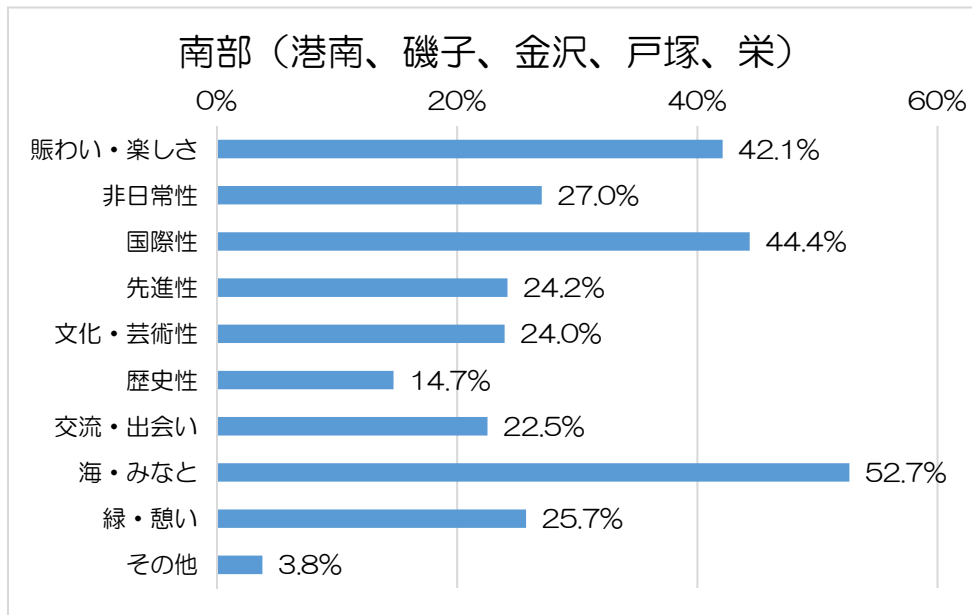
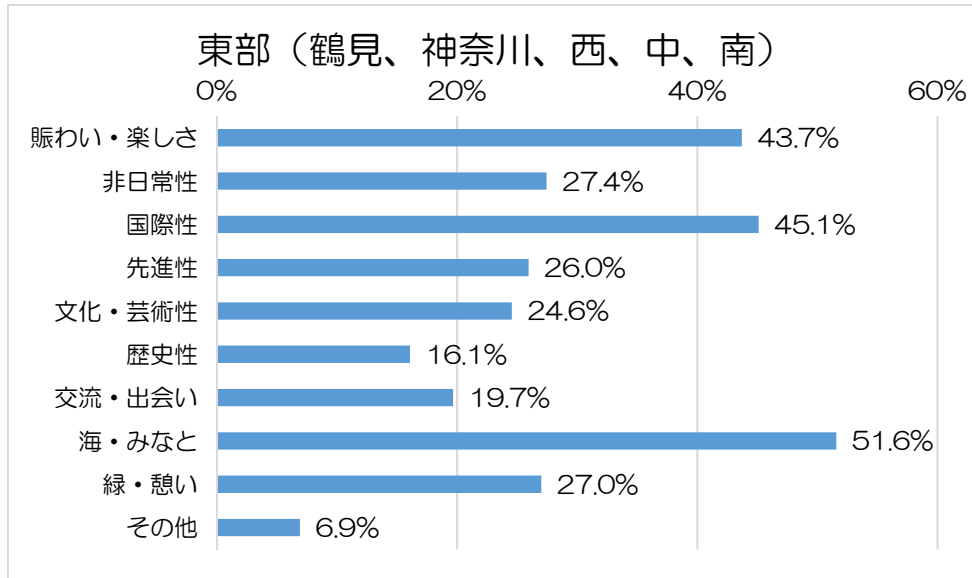
(3) クロス集計の結果（居住地別）

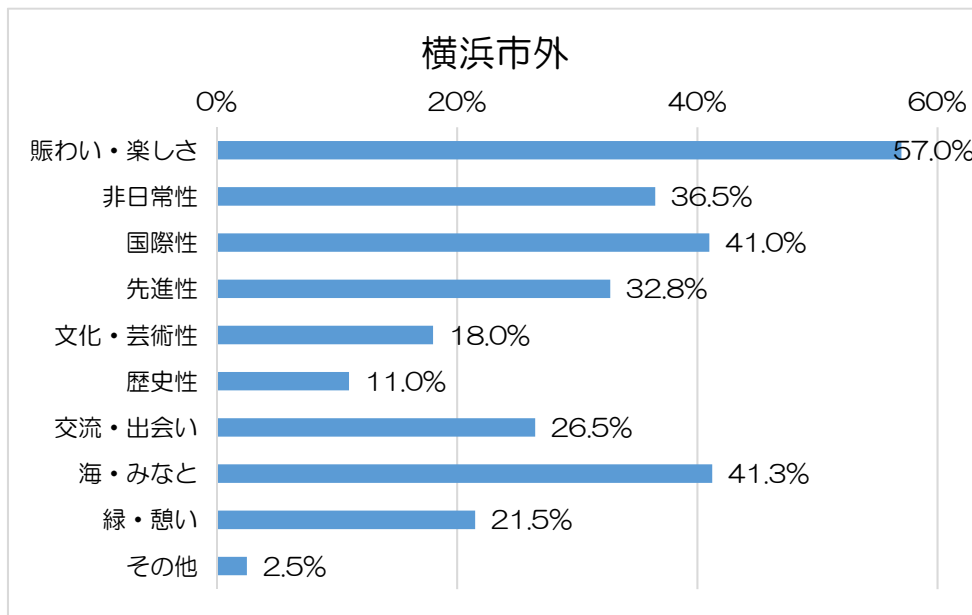
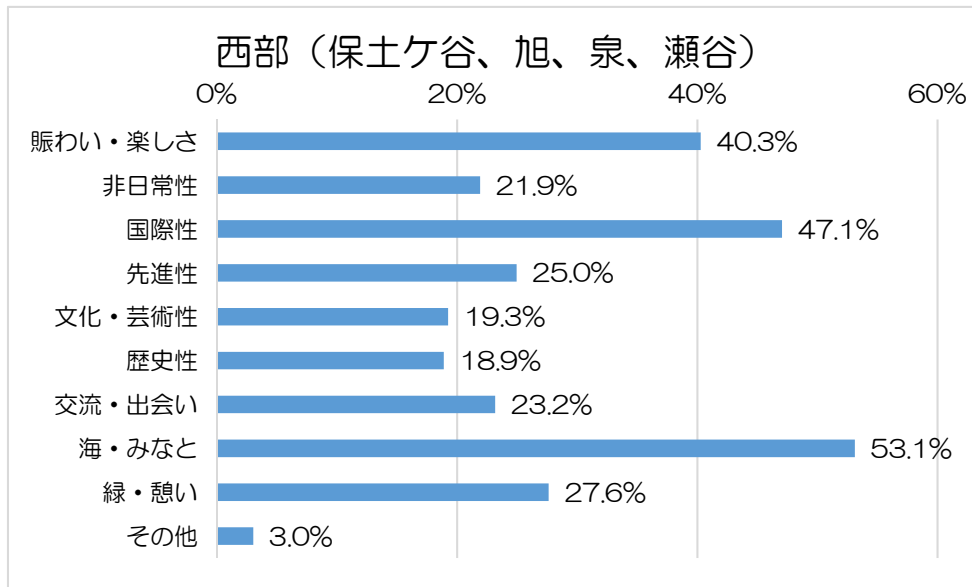
居住地別の集計結果では、市外在住者は市内在住者より「賑わい・楽しさ」や「非日常性」を選択する割合が多い一方で、「海・みなと」を選択する割合が少なくなっています。

図表 3-6 再開発のイメージ（居住地別一覧）



図表 3-7 再開発のイメージ（居住地別）





(4) 自由意見の分析結果

分析結果については図表 3-8 から図表 3-9 のとおりです。

「港」「歴史」「緑」「文化」「市民」「楽しい」「国際」「海」「観光」という単語が多く見られました。

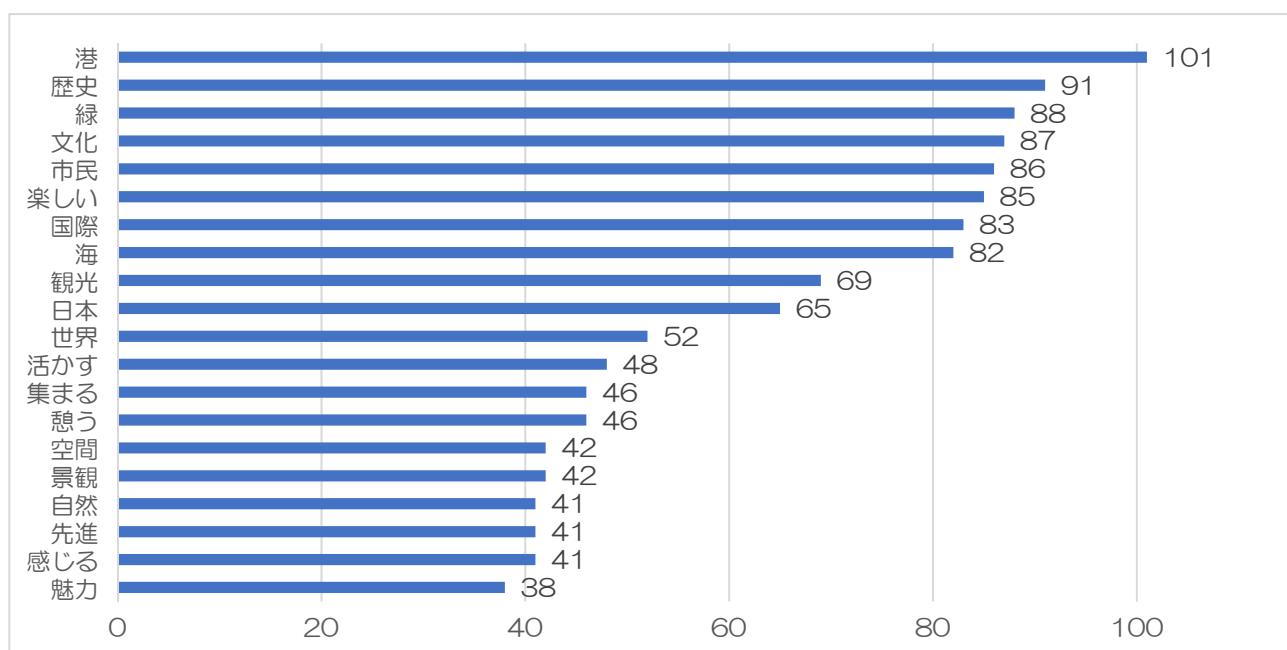
横浜らしい文化や歴史を活かしつつ、国際的であることを求める意見や、海・みなの中心として、緑などの自然との調和を求める意見、観光をテーマに子供から大人まで市民も楽しめることを求める意見が多い傾向となりました。

図表 3-8 ワードクラウド*

*テキストデータを視覚化するための方法、単語の頻度が多いほど、大きく表示される



図表 3-9 文書全体で使われている単語の頻度



(5) 主な自由意見（抜粋）

- ・市民・県民が押し寄せるエリアには、国内外の人たちにも興味を持ってもらえる可能性が高く、人が人を呼び、にぎわうエリアになる
- ・豪華客船が来て、外国人が日本の文化に触れながらショッピングしたり、日本食を楽しんだり賑わいのあふれる港
- ・開港都市横浜の利点を活かし、歴史を大切に、賑わいを創出できる空間を形成してほしい
- ・多様な人が集まり、地域全体に賑わうような再開発を期待する
- ・国内外から多くの人を呼び込む賑わいの創出を最重点事業とする
- ・既存商店街、都心臨海部の各地区などと十分に相乗効果が発揮され賑わいの創出が図られるよう推進してほしい
- ・子供から老人まで広い世代が楽しめる場になってほしい
- ・現在、都心臨海部は日帰りを楽しむ方が多いが、国内外からもっと宿泊して楽しんでもらいたくと思う
- ・山下ふ頭は、シンガポールのセントーサ島のように、お金がある人もない人も文化やエンタメを楽しめる場所になって欲しい
- ・収入を得ることも大事ですが、身近な横浜市民や神奈川県民が気楽に楽しく過ごせる施設を作ってほしい
- ・観光客だけでなく、横浜市民が楽しめること
- ・インバウンド客が横浜を楽しめるような施設を作ることで、街の魅力が増え利益を生み出すようになり、市民だけでなく日本全国から観光に訪れる人が絶えない場所になると思う
- ・多くの人々が何度も行ってみたいくなるような憧れの街になってほしい
- ・音も周りの迷惑も気にすることなく、年代関係なく遊べる場所をぜひ山下埠頭エリアに創り出してほしい
- ・山下ふ頭の再開発は、今までちょうど良かった都心臨海部の日帰りの規模感を、日帰りでは時間が足りないとしてくれる変わり目になると思う
- ・横浜市民からも誇りに思え、楽しんでもらえる事により、国内外から訪れたい、楽しそうだな、行ってみたいなどと思ってもらえるのではないだろうか
- ・今回開発されるふ頭エリアは、エンターテインメント性があると、非日常感を求めてより人が集まり、それに伴って、同じ最寄りの元町中華街もさらに発展していくと思う
- ・非日常が楽しめる街づくりをしてほしい
- ・先進的なデザインのホテルや商業施設、スポーツやエンタメなど非日常の空間であり、とても夢のある山下埠頭の再開発案
- ・非日常的な体験ができる、値段が高くても、特別な思い出に残る施設
- ・山下ふ頭の立地を活かし、誰もが海を身近に感じられるとともに、この場所でしか体験できない非日常性を感じられる場所にしてほしい
- ・横浜に来なければ世界のどこにもない、音楽、アニメ、先進的なテクノロジーで溢れた非日常的な街
- ・エンターテインメント性のある非日常が楽しめる街づくりを目指して欲しい
- ・開発される山下ふ頭エリアでしか体験できない事を非日常として楽しんでいただき、水辺の景観を生かし、地域経済を豊かにしてくれると思う

- ・大型船舶が自由に入出入りし国際的な賑わいを後押ししてほしい
- ・国際的な拠点として、人に魅力を感じさせる、人に行ってみたいと思わせる、訪問して感銘を受ける、何回も訪れたい、などの観点を考慮してほしい
- ・国際色豊かなイベントや催しが行われる、開かれた場所にしてほしい
- ・海外から人が集まるような国際性のある開発を
- ・港町だからこそ国際的に通用する観光地として発展してほしい
- ・開港都市横浜ならではの、海外に開かれる街を目指し、海外から人が集まるような国際性のある開発をして欲しい
- ・山下埠頭は世界の人に横浜をしってもらえるような国際的なリゾートになって欲しい
- ・国際的なビジネス地区にすると良い
- ・大都市の都心部という立地と、歴史的にも横浜の核となるエリアの一つなので、国際競争力を高め、今後の都市間競争を勝ち抜く視点での大規模な開発が必要
- ・市民の憩いの場は既に海沿いにあるので、多様なものを受け入れ、国際的な先進性のある地としてチャレンジして欲しい
- ・先進的で国際色豊かな開発を期待している
- ・私たちは150年前の横浜を作り上げた人々の上に立っているので、過去の維持では無く、今から150年後の市民に残せる先進的な都市作り
- ・伝統と先進性をコラボしたデザインを期待
- ・映像や人が乗れる大きなメカニクスに関わる先進技術の拠点
- ・これまでの日本には無い先進的な開発を行い、海外から人を呼び込める施設を展開してもらいたい
- ・市民が未来に希望を持てるような、世界のどこにもない先進的な街づくりを切に願う
- ・再開発するからには先進の技術を日常化するような企画を行なったらよいかと思う
- ・横浜の先進性や文化性が活かされた再開発がされると素敵だなと思う
- ・横浜には歴史的に由緒のある地域が多いが、山下ふ頭は新しく整備するのだから、むしろ先進的な先駆的な企画・視点が欲しい
- ・都市の未来像を示す先進性を目指すと共に、地域性及び歴史性を感じられるようにする事で、他の競合との差別化を目指すべき
- ・山下ふ頭の開発については、海外からも人を呼び込めるような先進的な開発を目指すべき
- ・先進的な技術や外観を取り入れた施設をつくる
- ・「横浜」というと先進的、国際的なイメージが強いのでそこを取り入れ、伸ばしていくべきだと思う
- ・トリエンナーレ、音祭り、ダンスなどの国際フェスティバルの会場、コンベンションやライブ会場となるオルタナティブなスペースを作り、多くの人でにぎわい、横浜の文化や産業を振興する拠点とするのがよいと思う
- ・横浜市の文化的、知的価値を高めるために土地を使ってほしい。安易に商業施設を作らないでほしい
- ・日本が世界に誇るアニメ文化は海外から来日客を誘致する強力な武器
- ・他の都市では出来ない横浜らしさと、日本らしさを世界に向けてアピールし、クルーザーなども入港出来、プレミアムなホテルなども誘致、港町ヨコハマ・観光・食文化・などの発信拠点とし、

「横浜」というブランド価値の向上を図る

- ・日本の観光・自然・文化・政治を世界に発信できる拠点・人材を設ける
- ・世界の多様な文化に触れられるといいと思う
- ・横浜の歴史と文化を、魅力的に世界に発信してほしい
- ・江戸時代での開国時、横浜は外国人を受入れたように、今海外から最先端の文化や技術を取入れた地区にしてほしい
- ・大人も、色々な国の文化芸術を学んだり、各国の名物料理を食べたり、特産品を購入できる場があると楽しいが、加えて、それぞれの国が抱えている問題について、一緒に解決策を考え、話し合える場になると良い
- ・海外からの旅行者が日本の文化芸術を直に触れ合える情報発信基地であっていただきたい
- ・長く多くの人に愛される、日本のアニメ文化、ゲームの世界、eスポーツなどの特徴あるコンテンツ
- ・近隣エリアに大学が集まっていることで文化的都市の趣を形成することができる
- ・新しい技術や文化を世界に発信していけるといい
- ・多様性、国際性、教養的なもの、等、横浜の文化やイメージを活かした他都市との差別化
- ・もの（食べ物、ファッション、その他）を大量に消費する「物質的豊かさ」の時代ではなく、文化芸術、教育、スポーツなど「活動を通じた豊かさ」の時代だと思うので、それを踏まえて考えてほしい
- ・公共性が絡むと陳腐になりがちな場所なので、ライゾマティクスなどとの提携により、芸術性と先進性を兼ね備えたデザインで、常にニュースに取り上げられるような話題性のある場所にして欲しい
- ・オーストラリアのオペラハウスの様な横浜を象徴させる特徴的な建物を建設して芸術の都をめざす街作りを行うことを提案する
- ・横浜の歴史を味わえる異空間
- ・古くから横浜を支えてきた港湾機能として歴史ある山下ふ頭は、山下公園や中華街とも近く、歴史ある横浜の魅力を再発見できるようなスポットとして魅力を創出するべきだと思う
- ・山下ふ頭の歴史的面影を、きちんとわかる形で残して欲しい
- ・横浜の歴史を踏まえて、未来に向けた横浜を世界に発信する街づくりを考えて欲しい
- ・横浜らしく国際的で歴史と新しい文化が入り混じった、わざわざ足を運びたくなるようなエリアになってほしい
- ・歴史を感じさせつつ、いつまでも最先端でいてほしい
- ・どこにでもある商業施設ではなく、横浜の歴史と未来性の両方を取り入れた最先端で利便性の高い、誰もが気軽に行きやすい場所になって欲しい
- ・将来のための先進性と歴史ある横浜の融合を未来につなぐ開発を期待する
- ・港は横浜の象徴にふさわしいエキゾチックな雰囲気と歴史的文化を失わない建て物を作ってほしい
- ・横浜の歴史・風景を残した再開発を望む
- ・宿場町と港町から始まり、居留地や国際交流の場として栄え、また江戸時代から今まで先進的な開拓で発展してきた歴史を踏まえた、永続的に魅力を発信し続けられる開発を望む
- ・歴史を上手く残しつつ、新しいことを取り入れるのが大切だと感じる

- ・歴史を大切にしたい、昔ながらの景観を残してほしい
- ・海外の歴史地区の様な旧市街的な雰囲気を醸し出すと、みなとみらいとの対比も相まって一層魅力的なヨコハマになると思うので、多少の不便さはあっても、景観を保つべき
- ・国際的に人気のある場所というのも魅力ではあるが、歴史のある建造物が多くあるイメージでもあるので海外向けばかりではなく日本人にも行きたくなるような日本文化を生かしたかつ地球にやさしい場所ができるのを望む
- ・横浜の歴史文化を継承するためにも、新しい世の中を発信する都市であり、良い歴史を感じられる都市でも有ることが大切だと思う
- ・山下埠頭が、高度成長に果たした歴史の継承・発展を明らかにすることが、未来につなぐまちづくりになる
- ・ITの進歩もあるが、現実での交流も改めて必要で、戸外で遊べる、活動できる良さも自宅待機から必要性が求められていると感じるので、自由に活動できる戸外の間（遊び場・憩い）
- ・国内外の地域文化と技術を紹介交流できる世界的拠点
- ・海と文化を活かした交流と住居施設を整備すべき
- ・異文化交流を積極的にできる施設や交流の場が欲しい
- ・高齢者と若年層との交流で学習、体験、チャレンジができる場所になって欲しい
- ・戦後の歴史的な役割を表明でき歴史性と文化・芸術性とともにより市民交流などができる開放的な雰囲気の施設とすることが望まれる
- ・景気に左右されずに、環境を大切にしたい、人間の交流・温かさある 100 年後も安心できる、国際交流できる港街を
- ・横浜市内に住む人たちが、何らかの交流できる場所を作りたいことを検討してほしい
- ・マリナーズ（サーフィン、SUP、シーカヤック）、ここに来たら大人も海で遊べる、過ごせる街
- ・湾内を見渡せる立地を活かし、海側に広場や滞在ができる場所を作れるとよい
- ・市民がもっと海に触れる機会が増える事で、環境へ配慮する心も育まれる
- ・海に親しめるような柵のない水辺と、砂浜や干潟、森などの自然を再現してほしい
- ・山下ふ頭は、山下公園とつながりをもたせることも可能だと思うし、横浜市は浜辺がほぼないので、海水を浅く引き込み、もっと体験的に海を楽しめる憩いの広場が中心部にあってもよい
- ・海風を感じられる爽快感と海側から横浜を眺められる埠頭の良さを生かしたら素敵な場所になる
- ・港・物流と新たな賑わい、両方があってもよい
- ・のんびりした港の雰囲気を残すのも景観上も大切
- ・国際港としての機能を生かし強化する
- ・日本にあまりない高級感のある港の景観を世界に誇れる施設がいい
- ・港としての機能と新しい価値を提案する機能を共存させるか、それとも完全に分離させるかも含めて検討してほしい
- ・横浜のみなと町として、人が直に海に慣れ親しんでもらえるような人的交流や海上の物流やレジャー等にも優しく理解が深められるような地域になるような港の姿であってほしい
- ・せっかくクルーズ船が停泊できるターミナルがあるので港湾都市としての魅力をもっと発信してほしい
- ・バンクーバーやオークランド（ニュージーランド）のようにヨットハーバーがあると港らしい景

観がアップする

- ・自然に触れる機会が少ないので、緑が多く憩いの場があると良いと思う
- ・緑地帯、公園、など市民が、憩うことができる広い空間がいい
- ・セントラルパークのような緑地帯をぜひ望む
- ・森や干潟など生物多様性を感じられる、自然を再現した緑豊かな憩いの場
- ・開発は好むけど、緑と文化を大事にしてほしい
- ・山下ふ頭に緑地を増し、水辺で人々がいこえるゾーンの拡大
- ・豪華な施設や高層ビルでなく、港、船、公園・緑、家族を視点とした広々とした安らぎの場として開発してほしい
- ・横浜市に関係するイベント、博物館、植物園や日本庭園など緑と港、海を一体化して、休日をゆっくり過ごせる場所になると良い
- ・山下公園から続く、緑・いこいを感じつつ未来都市的なゾーンとして欲しい
- ・農業や食の視点を大切にし、ありきたりのショッピングモールではなく自然、緑いっぱいの陸地と海を持続的に楽しめる企画が望ましい
- ・山下公園は完全な都市型公園なので、海を親しめると同時に土と緑が広がる市民がゆっくり出来るような公園
- ・やはり緑が多い、場所を作り、子供たちや家族連れでにぎわう、または来たくなる街づくりをすることで、横浜をさらに誇りに思えると同時にそのような施設の拡充を希望する
- ・老若男女が気軽に訪れられる、緑あふれる地域にしてほしい
- ・緑化を最優先した再開発がテーマと考える
- ・みなとみらいのようにビル中心の殺風景な街ではなく、水辺や緑があり、徒歩での回遊性のある（歩行者やランナー等に優しい）街づくりをしてほしい
- ・商業施設等を誘致するのではなく、誰でも訪れることができ、憩いの場となるような公的な空間となることを望む
- ・市民も観光客も憩いの場として愛される場所になりますように
- ・山下ふ頭が他の内港地区になく、横浜の都心部でなかなか感じとることができない憩いの場になると、目的がはっきりとして市民が利用したくなると思う
- ・山下ふ頭は、「市民や旅行者の憩いの場所」として、訪れる人を癒す公園としてほしい

問3 「山下ふ頭にふさわしい導入機能」について

【市民意見の傾向（集計・分析結果を踏まえた見解）】

選択肢では、「エンターテイメント機能」「水辺・親水機能」「文化・芸術機能」を選択した割合が多く見られました。

20代から40代は「エンターテイメント機能」、50代以上は「文化・芸術機能」「水辺・親水機能」「クルーズ船受入機能」を選択する傾向にあり、また、市外在住者は市内在住者より「エンターテイメント機能」を選択する傾向にあるなど、年代や居住地による違いも見られました。

自由意見では、ホテル等の滞在機能と合わせて、スタジアム等のスポーツ機能やテーマパーク等のエンターテイメント機能を複合的に導入し、観光や交通の充実を意識した意見や楽しめることを求める意見が多い傾向となりました。

エンターテイメント機能、水辺・親水機能、文化・芸術機能のほか、スタジアム等のスポーツ機能やホテル等の滞在機能を複合的に導入していくとともに、観光・交通の充実、楽しさなどの視点も必要。

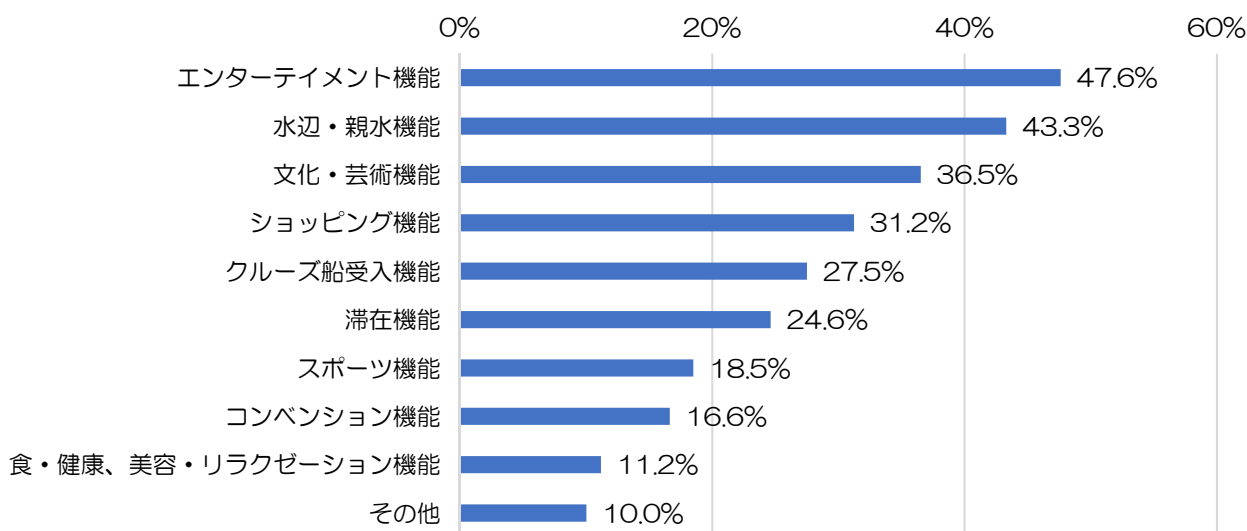
「山下ふ頭にふさわしい導入機能について」の選択肢回答（3つまで選択可）の集計結果については、図表 3-10 から図表 3-14 のとおりです。

なお、グラフ横軸の割合は、アンケートによる回答件数のうち、その選択肢を回答した件数の割合を示しています。

(1) 単純集計の結果

選択肢ごとの集計結果では「エンターテイメント機能」が 47.6%を占めて最も多く、「水辺・親水機能」43.3%、「文化・芸術機能」36.5%、「ショッピング機能」31.2%、「クルーズ船受入機能」27.5%が続いています。

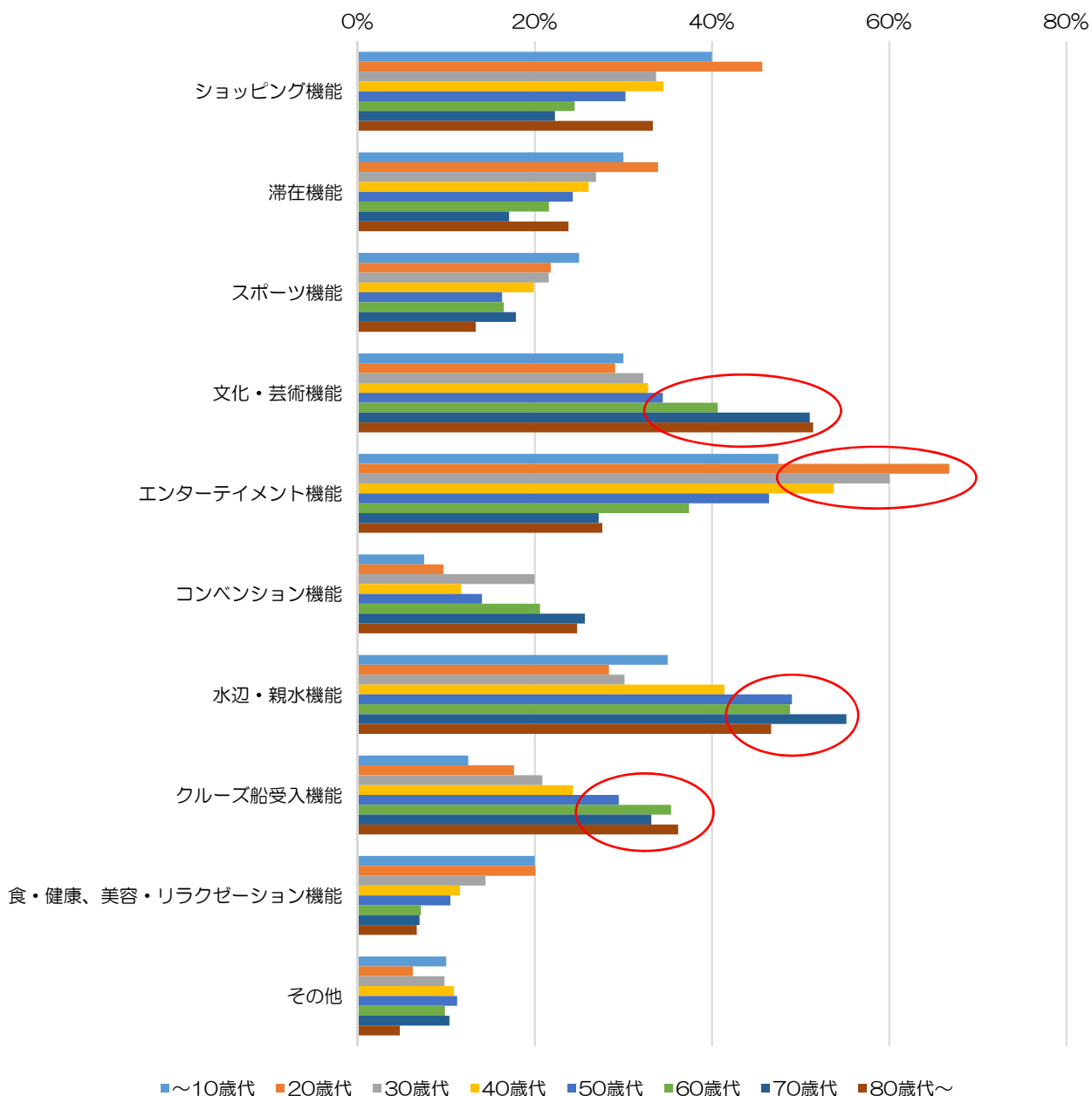
図表 3-10 ふさわしい導入機能



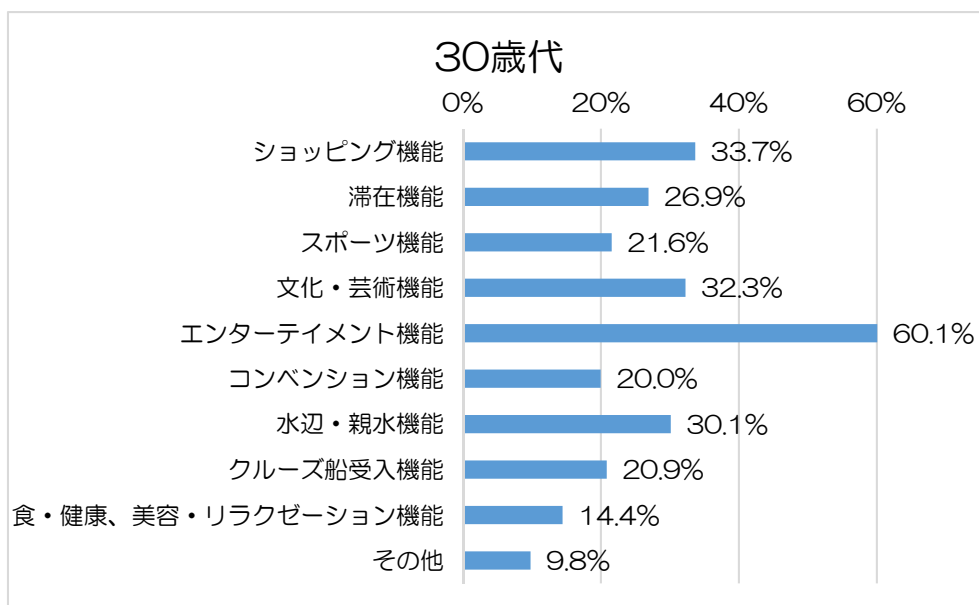
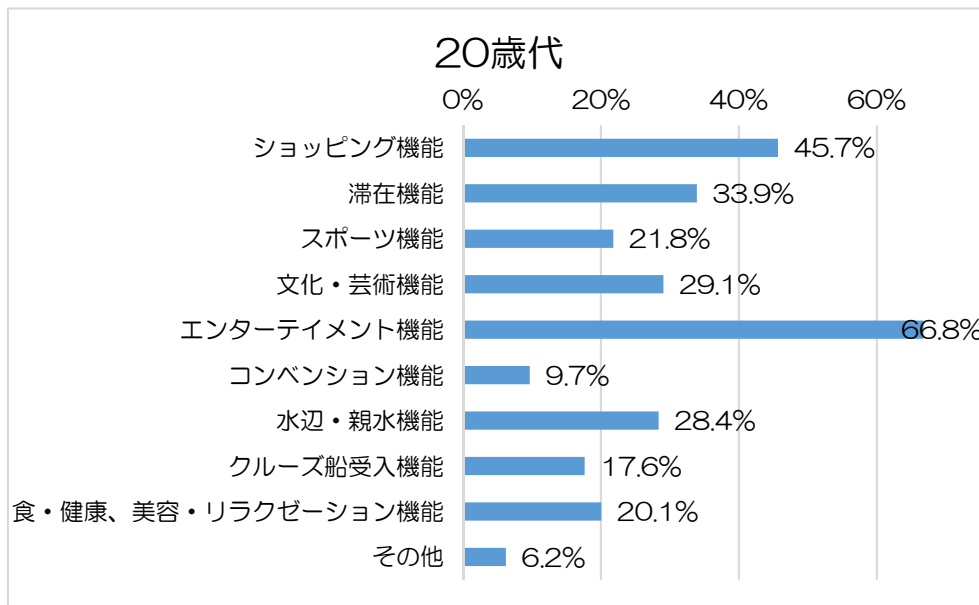
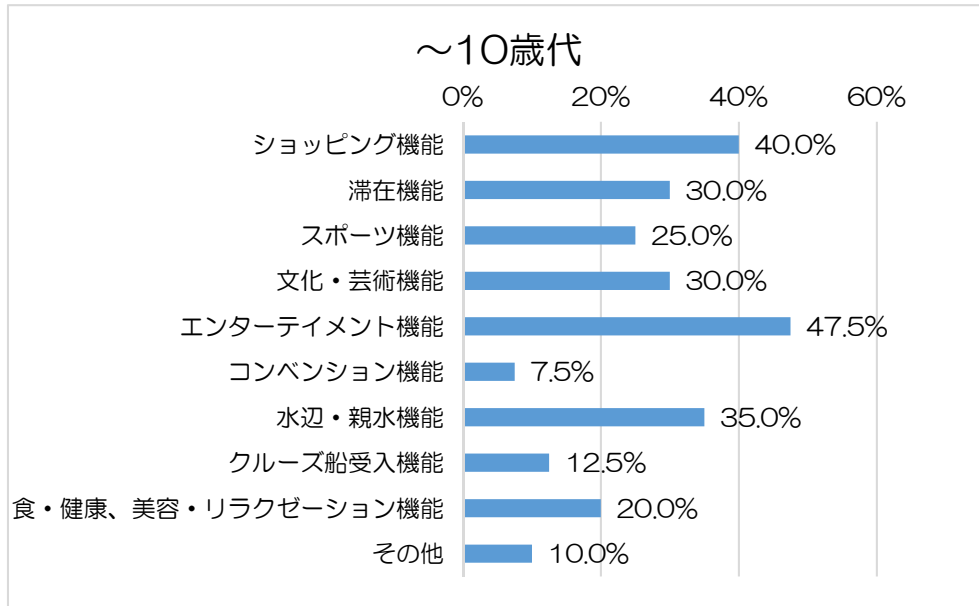
(2) クロス集計の結果（年代別）

年代別の集計結果では20歳代から40歳代は「エンターテイメント機能」を選択する割合が多く、50歳代から80歳代は「文化・芸術機能」や「水辺・親水機能」、「クルーズ船受入機能」を選択する割合が多くなっています。

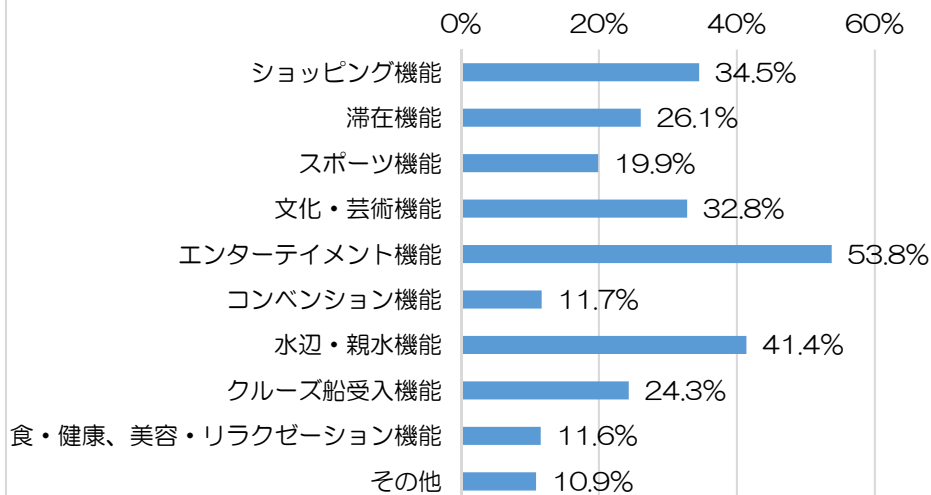
図表 3-11 ふさわしい導入機能（年代別一覧）



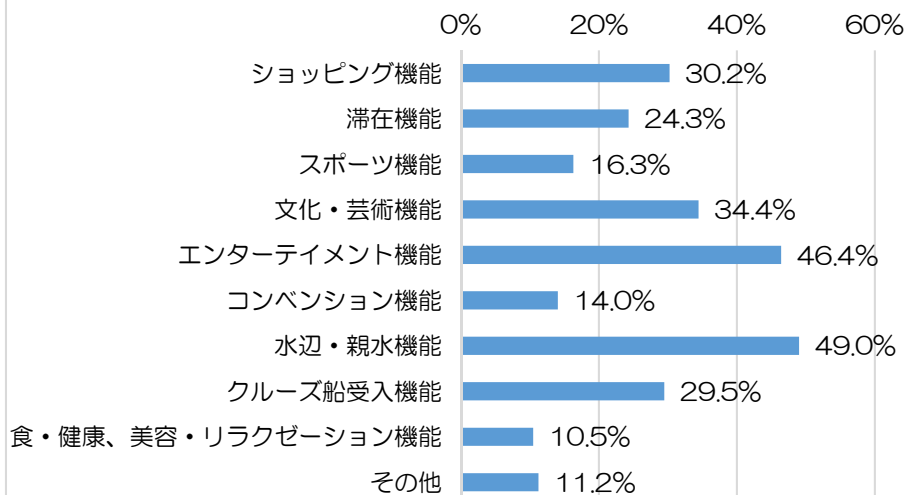
図表 3-12 ふさわしい導入機能(年代別)



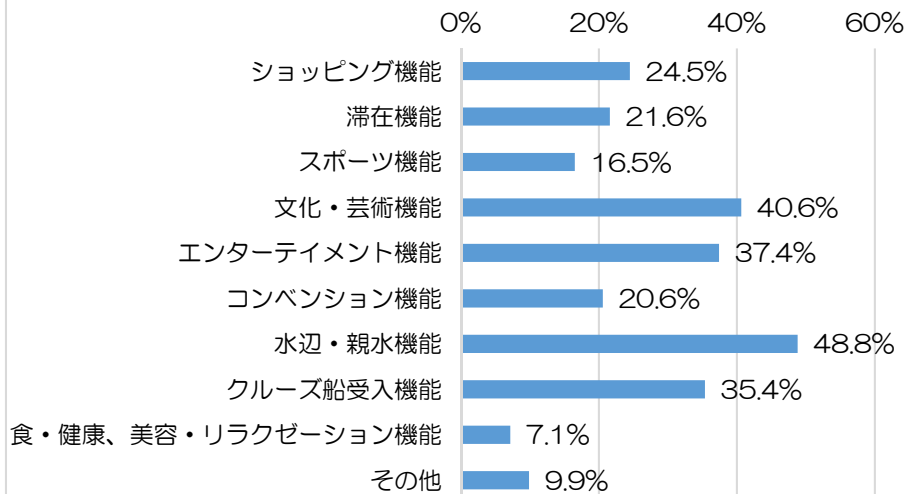
40歳代



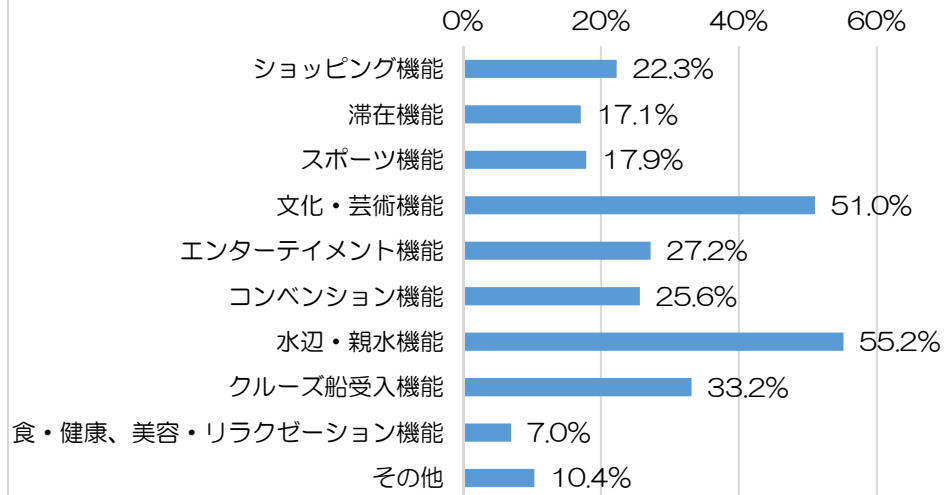
50歳代



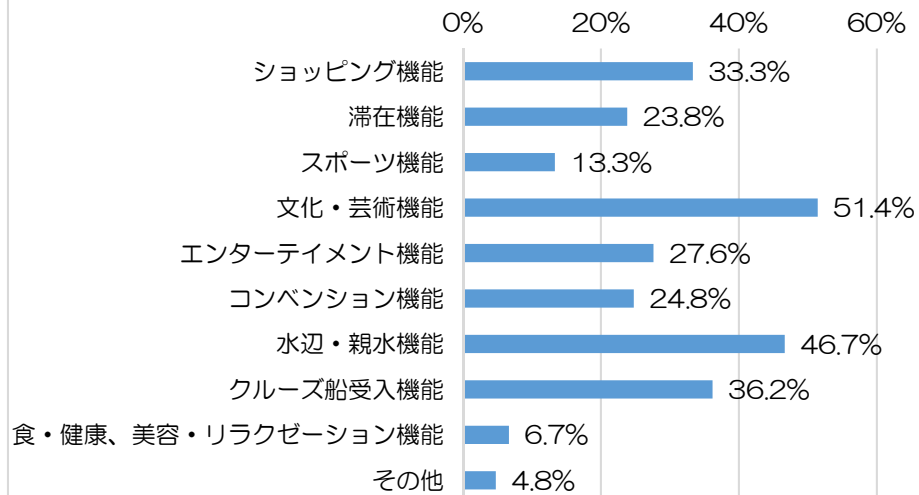
60歳代



70歳代



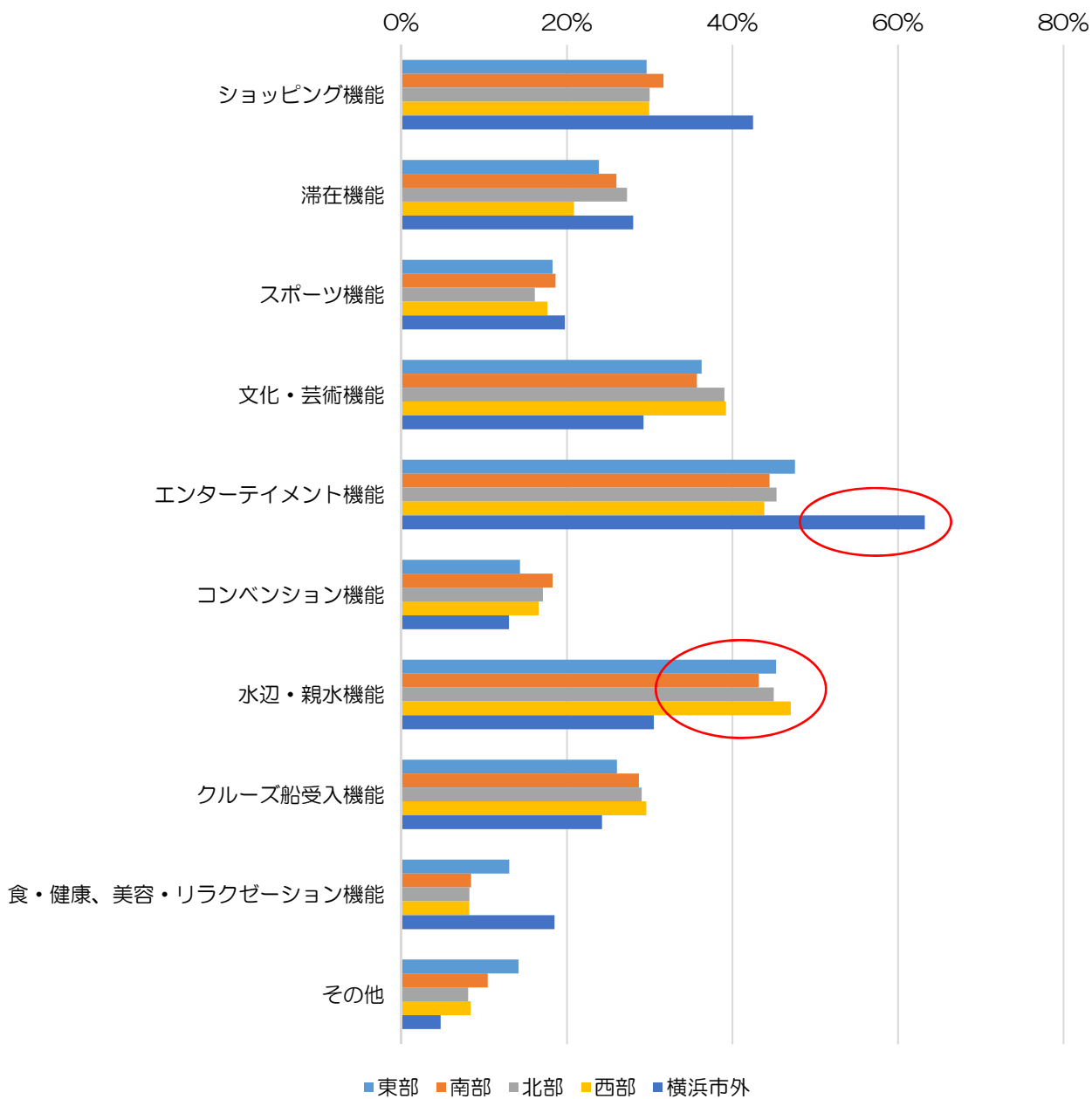
80歳代～



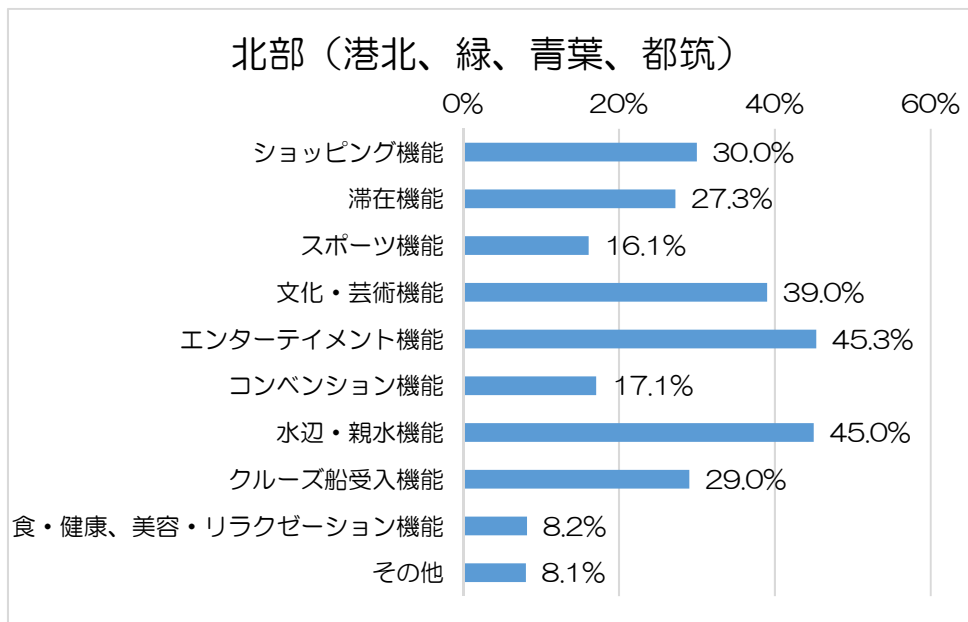
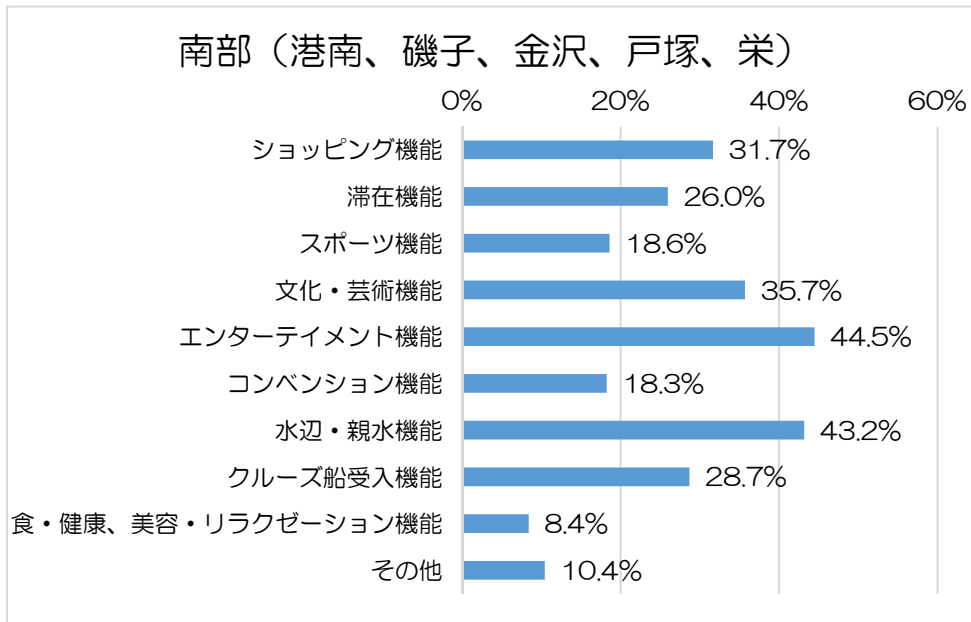
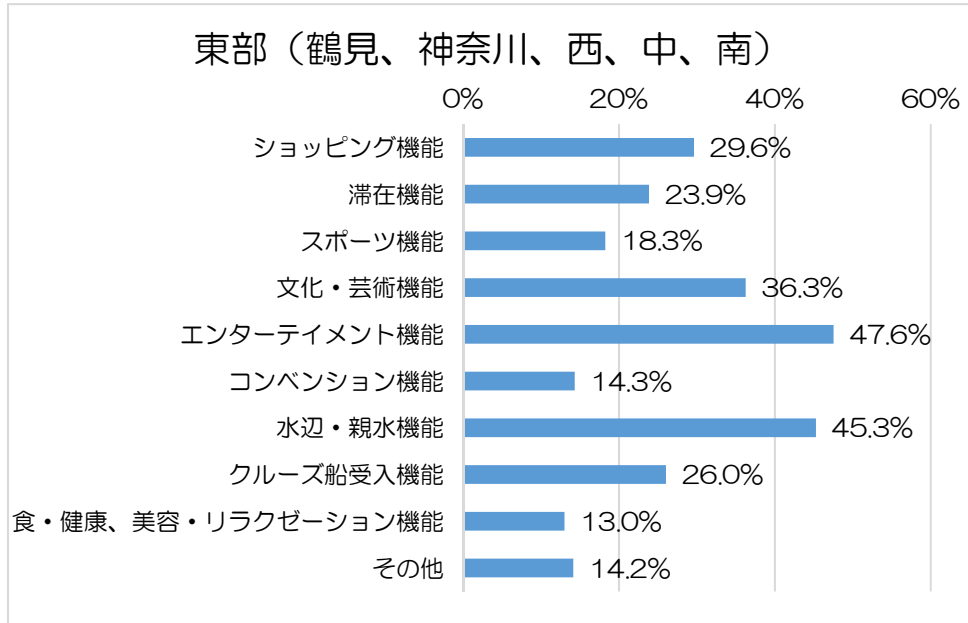
(3) クロス集計の結果（居住地別）

居住地別の集計結果では市外在住者は市内在住者より「エンターテイメント機能」を選択する割合が多い一方で、「水辺・親水機能」を選択する割合が少なくなっています。

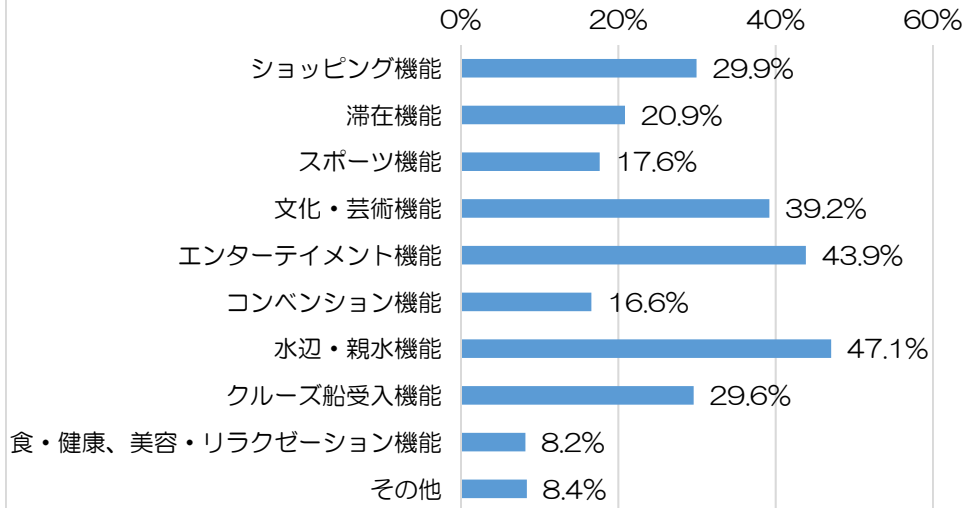
図表 3-13 ふさわしい導入機能(居住地別一覧)



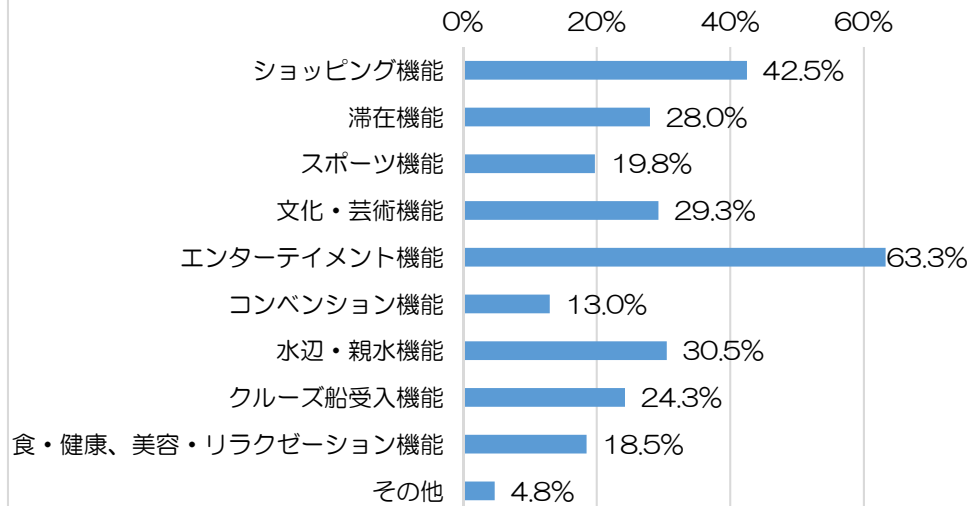
図表 3-14 ふさわしい導入機能(居住地別)



西部（保土ケ谷、旭、泉、瀬谷）



横浜市外



(4) 自由意見の分析結果

分析結果については図表 3-15 から図表 3-16 のとおりです。

なお、本項における分析においては、導入したい機能に関する意見を可視化するため、「スタジアムの整備に反対する」といったネガティブ意見は取り除いて分析を行いました。

「楽しい」「スポーツ」「スタジアム」「観光」「テーマパーク」「海」「交通」「ホテル」という単語が多く見られました。

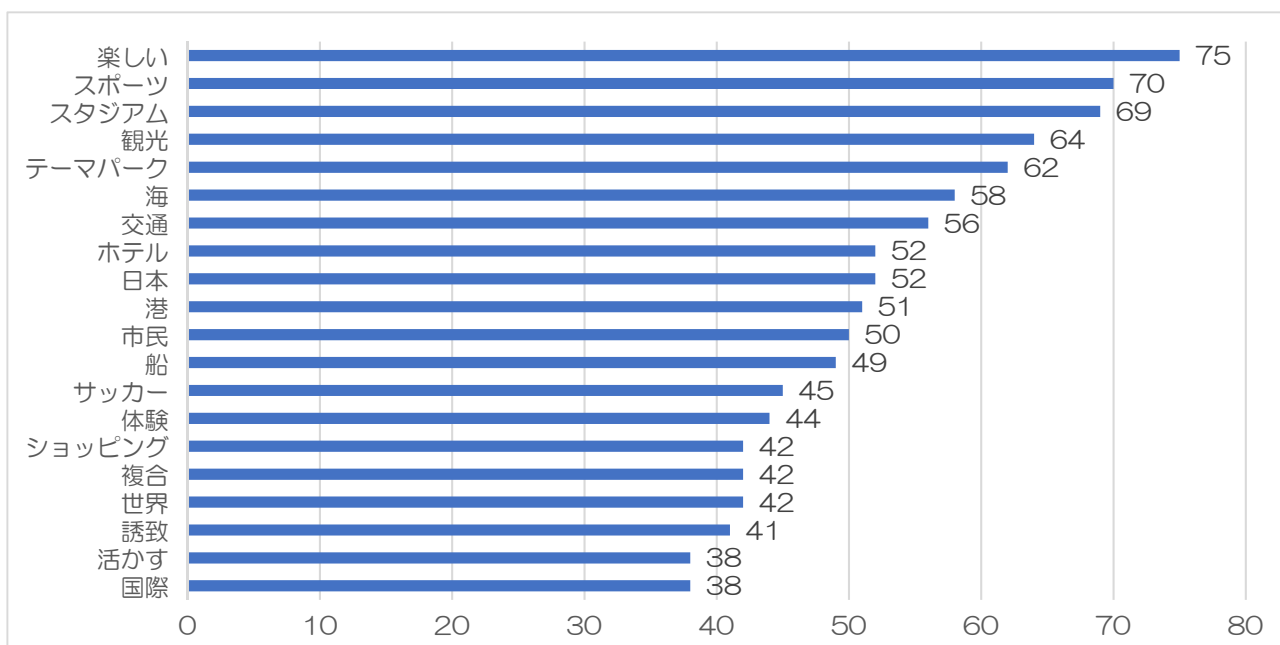
ホテル等の滞在機能と合わせて、サッカースタジアム等のスポーツ機能や日本を代表する体験型のテーマパーク等のエンターテインメント機能を複合的に導入し、観光や交通の充実を意識した意見や楽しめることを求める意見が多い傾向となりました。

図表 3-15 ワードクラウド*

*テキストデータを視覚化するための方法、単語の頻度が多いほど、大きく表示される



図表 3-16 文書全体で使われている単語の頻度



(5) 主な自由意見（抜粋）

- ・世界に開かれた港としてインポートマーケットを作りショッピングに楽しい施設を作る
- ・地元住民への還元として、大型のディスカウントショッピングモールが設置されればと思う
- ・ショッピング機能（買回品・飲食）に関しても、すでに周辺にハンマーヘッドや赤レンガ倉庫などの商業施設があるため、新しく作る必要性を感じない
- ・個人的には外国の町並み（ベネチアなど、ゴンドラにのれる）を再現したショッピング施設や水族館とプールが一体化したような施設が楽しそう
- ・埠頭全体、各種スポーツ施設を取り囲むようにショッピングモールとアウトレットパークを形成
- ・複合的な施設（ショッピング、映画館、劇場、美術館、子供が遊べる場所、高齢者が憩える場所等を含む）で、かつ、エコフレンドリーな施設があるとよい
- ・子育て世代を集客するような施設が周囲にあまりないため、ショッピングモール、公園、習い事施設、学童、保育園などの一体とした開発
- ・山下ふ頭内だけで一日楽しめるショッピングモールなども考えてもらいたい
- ・他にはない独自性のあるコンテンツとして、様々な劇場やホールが集約され、スタジアム、ショッピング等も配置された複合的なまちができると良い
- ・ショッピングはみなとみらいや元町と競合するため最小限とすべき
- ・国内外の観光客が長期滞在できるようなリゾート開発
- ・水辺をきれいな砂浜やヨットハーバー、海上プール、海上ジェットコースターなどの遊具を設けて、滞在型リゾートハーバーにする
- ・宿泊したい、滞在したいと思ってもらえる地域にしてほしい
- ・子供から大人まで幅広い世代の方が安心して楽しめるエンタメ施設と滞在施設を併設することで長く滞在したいと思える地域になると良い
- ・目玉施設（プール、複合商業施設、イベントホール等）を中心に宿泊施設や各種ショップ、ブティック、飲食店が建ち並ぶリゾート
- ・ディズニーやマリオなど世界で対抗できるコンテンツとしてポケモンをテーマとしたホテル、レストラン、アトラクション等を備えた「ポケモンリゾート」を整備する。ポケモンは世界中で絶大な人気があり、インバウンドも期待できるとともに、国内でも幅広い世代に認知されており、国内集客も確実に見込める
- ・リゾート施設は要らない
- ・すでにみなとみらいにはショッピングやパシフィコ横浜、ホテルなどがあることから、同じようなものを取り入れても差別化を図るのは難しい
- ・カジノ計画は今ではなくなったので、また変わるのかわからないが、大型5つ星ホテルなど誘致し、エアキャビン延伸、など、人を呼べる地域になればいいと思う
- ・ホテルは長崎や神宮を参考に、観戦も可能な複数の高層ホテルとし、MMのようにスカイラインと夜間照明に注視したものとする
- ・ホテルも江戸時代の宿とかガンマンが泊まる小屋とか非日常性の中、ロケがない日は楽しめる空間の提供など壮大な構想を作してほしい
- ・ハイグレードのホテル、エンターテイメント、文化芸術、コンベンション機能がふさわしいと思う。宿泊してみたいとさせてくれる5つ星のホテル、海外の美術館と提携し、世界的な作品が見れる美術館、この為に横浜を訪れたいとさせてくれるクオリティ高いもの、世界的なエンターテ

- イメントショー、一日中楽しめるエンターテイメント施設、ビジネスで訪れるコンベンション施設、また日中の賑わいが夜まで続く機能が必要だと思う
- ・海を眺めながらゆっくりと時間を過ごせる公園やカフェ、海を感じながら過ごせる一流のホテル、世界中からのアーティストが呼べる最高水準のホール、子供から大人まで楽しめるテーマパークなどがあるといい
 - ・歴史ある港に洗練された新たなウェルネス環境を創出しながら、これまでにない機能として、XGamesのようなエクストリームスポーツの拠点施設や育成施設を導入して、横浜港他地区や世界にはどこにもない独自性の高いみなとまちとなることを望む
 - ・今回の再開発で、スポーツ球技場を軸とした再開発をしてほしい
 - ・サッカー専用スタジアムの建設等、スポーツに特化した施設の建設
 - ・子供から高齢者までもが、安心してスポーツを楽しめるような全天候型の施設があるとよい
 - ・内港地区に欠けていると思われる、マリーン・スポーツを核として検討して頂きたい
 - ・東京オリンピックでも活躍したスケートボード等のアーバンスポーツができるエリアを作り児童や若者が交流できる場所を作ってほしい
 - ・サッカーやラグビーの専用の球場、緑豊かな憩いの場、市民が楽しめるスポーツ施設
 - ・そもそも横浜は他の大都市と比べると観光スポットや各商業施設が分散しているので、横浜スタジアムと共に野球とサッカーという二大スポーツの拠点となればこの地域の更なる繁栄と活性化に繋がると思う
 - ・陸域だけでなく水域も活用して横浜に専用のスタジアムを持たないプロスポーツが誘致できれば、横浜は世界にも類を見ない複合的なスポーツ文化発信地となるのではないかと
 - ・ボールパークを核とした、eスポーツを取り入れたスポーツスタジアム
 - ・横浜スタジアムや横浜国際総合競技場と並ぶような、世界的なスポーツ行事会場になり得る大型スポーツ施設を建設してほしい
 - ・eスポーツの国際大会を開催できるアリーナの整備やそれに付随したゲームやアニメなどサブカルチャー施設の整備
 - ・サッカー専用スタジアムが市内にあると盛り上がると思う
 - ・横浜市内に大型のサッカー専用スタジアム建設を希望する。野球場、陸上競技場は国内屈指の施設があり誇らしい一方で、Jリーグクラブが3つあり地元での競技人気が高いことやW杯決勝も開催したレガシーをもっと活かして欲しい
 - ・次の50年を見据え、子ども達に夢と感動を与えられる舞台となるスタジアムを希望する
 - ・市民が楽しめる文化施設を公園内に作ってほしい
 - ・幕末・明治の横浜開港場を復元し、英語教育・英語ビジネスの発祥地として、その歴史・文化・経済を学び、体験できる日本初の魅力溢れるテーマパークを企画し、運営する
 - ・外国人と日本の若者が日本文化を体験出来る芸術村
 - ・非日常性が有り宿泊施設が有り大人が遊ぶ所の有り文化・芸術が出来る場所がいいのではないかと
 - ・横浜は歴史が浅い街で和の文化を発信することがこれまでできなかったが、日本的な建造物でエンターテイメント機能を付加した和の体験やアニメの世界観を体感できる場所と市民が海と緑等の自然につながる場所、豊かな食を楽しめる場所、駐車場等の機能を付加し、来場者が多彩な魅力をSNSで発信できるような場所にしてほしい
 - ・インバウンド旅行者も視野に入れた、世界的に名を知られた文化的総合施設

- お金がある人には落とせる施設を作りつつ、無い人も無料で楽しめる文化的な公共空間を作る
- 日本のスポーツの文化や功績を展示したり学べたり遊べたりするスポーツ博物館を作る
- 横浜港を一体化した開発の中で、山下ふ頭にはエンターテイメント文化集積地(ショービジネス、歌舞伎、コンサート)
- 横浜にも横浜でしかできないアート・芸術の国際展(見本市)とその常設会場(オルタナティブなアートスペース)が欲しい
- 公共の芸術鑑賞の場所
- 小中規模の芸術関連の展示・公開施設、個別分野の資料保存施設
- 個人的には大型のミュージカルの上演もできるような劇場が横浜市にあると嬉しい
- ブロードウェイのような複数の劇場が立ち並ぶ観光地を目指してほしい
- デジタル技術を利用した美術館のようなプラネタリウムのような施設でコンサートもできるようなホール
- ファミリー、高齢者、単身と全ての層が1日楽しめるような施設を作り上げ、長年愛される持続的なエンターテイメントの場を作りあげることが理想だと感じる
- スポーツや音楽やダンス、映像(芸術)のエンターテイメントを融合した地域をつくる
- 今後も更なるエンターテイメント性を育み、テーマパークの様な街づくりを期待する
- 商業・エンターテイメント機能などこれ以上は不要
- 国際競争力を高めるようなエンタメ施設やコンベンション施設などの誘致もしてほしい
- カジノは取りやめになったが、集客力のあるエンターテイメント性の高いテーマパークや公園ができるとうまい
- 歴史をテーマにしたテーマパークなどはどうか
- 山下ふ頭の立地はアクセスに優れており、集客力のあるテーマパーク誘致が良いのではないかと
- 氷川丸があるが、それだけではなく、帆船や貨物船など、歴史の積み重ねがわかるような「船のテーマパーク」を作ると良いと思う
- 譲渡会会場はもちろん、アニマルウェルフェアの食べ物を提供するレストランやペットと楽しめる施設とか、バーチャル動物園、野鳥観察ができる場所、引退した競走馬と触れ合える場所など日本初の動物愛護テーマパークを作してほしい
- ディズニーやUSJ程のテーマパークができると、皆が楽しめ、経済効果もあり、観光客の滞在日数も増えると思う
- 体験型のテーマパークや、各社の最先端の実証を行ったり見学ができたりする施設、子供から大人まで楽しめるもの
- 海をテーマパークにしたアミューズメントを作るのも良い
- キッザニアのような小さい子から高校生ぐらいまでの子供たちが近未来的スマートシティを体験できるような小さなテーマパーク的なものがあったらいいかもしれない
- よくあるショッピングモールではなく、強い魅力あるテーマパークが必要。横浜と言えばここに行きたい!となるようなコンテンツ。ワクワク感で、世界から人を惹きつける、お金を落としてくれる施設が必要
- コンベンションセンターや宿泊施設は既にみなとみらい地区にあるので競合しない施設作りが重要と考える
- IR といつかカジノの誘致は撤回されたが、都市型(ハーバー)リゾートとして開発が進めば、MICE

の誘致との相乗効果があると思うので、ぜひ開発を進めて欲しい

- ・アイデアはどんどん広がりますが、敷地内にホテルとコンベンションセンターを建設すれば、ビジネスと観光の両立がパーク内で可能になり、港内隣接区域と連携することにより世界に類を見ないユニークな MICE インフラが整う
- ・最先端の医療施設・文化施設・先端的なコンベンションを設けることはどうか
- ・コンベンションセンター国際的なイベントに使用
- ・MICE の誘致には多大なコスト負担があることから、再開発事業の内容に加えてはならない
- ・機能面では、近隣の観光地と相乗効果が見込める MICE 機能を入れ、イベントを通じてさまざまな人が訪れる施設とする
- ・MICE の必要性は再検討すべき
- ・SDGs の最先端都市として、緑あふれる街づくりを推進している横浜らしく、もっと海側に緑地帯を設け、山下公園から連続する臨海公園として、親水性のある緑あふれるランドスケープアーキテクチャーに配慮した開発を希望する
- ・山下埠頭で釣りや水辺の生き物を観察できる施設があれば、高齢者や子供にも良い
- ・現状アクセス良くないエリアなので、水上タクシー等の交通を活用する等、他の親水施設（市庁舎前大岡川沿い等）と結んでみなとみらいエリアを含めた水辺空間の活性化をして欲しい
- ・シンガポールの「ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ」のような、海と緑のテーマパークの誘致が面白いと思う
- ・市民の憩いの場となるよう、海を見ながらの散策路、緑が多く鳥の声も聞こえる公園が必要
- ・食事処、横浜土産の購入、海を眺める事が出来るデッキ(ベンチ)があると良い
- ・球技場や劇場、大規模ホテルなど、巨大な建造物は造らず、緑地や砂浜、干潟など、また、海の中が見える場所など、環境学習ができて、自然と触れ合える場所にして欲しい
- ・海水淡水化の技術開発拠点を山下ふ頭に整備
- ・美しい横浜港の景観を楽しめる公園としての機能
- ・シンガポールのマリーナベイサウンズみたく、港湾の景色を眺めながらゆったりと泳げる様な大型プール施設があると嬉しい
- ・横浜ならではのみなとがにぎわうような親水施設を希望する
- ・ディズニークルーズラインを誘致して、世界から観光客の受け入れて欲しい
- ・ベイブリッジ側はクルーズ船やフェリー乗り場を設けて、旅客港機能の充実、内側は持続可能エネルギーを活用した商業施設や海洋関係の事柄を学べる施設などの整備を希望する
- ・クルーズ船に限らず他の地区との海上交通と陸上交通の乗り換え地
- ・山下埠頭地域全体を、「船」「ロボット」「未来」をテーマにしたエンターテイメントエリアにし、テーマパークと、多国籍なレストラン、ヨットハーバーやクルーズ船の寄港地で構成される賑わいのある地区とする
- ・ショッピングモールなどより、クルーズや国際交流などを軸にした体験・交流など、いろいろな経験を楽しむことを意識して欲しい
- ・自信を持って国際級ホテルや商業施設、海外富裕層が所有する大型クルーズ船が直接停泊可能な港等を整備して欲しい
- ・山下埠頭をモナコを超えるハーバー、日本でクルーズ船寄港地と言えば YOKOHAMA と謳われるよう願っている

- ・伝統ある港町のイメージを保ちつつ強力な観光資源になる洋上エンターテインメントが欲しい。出港を前提にすると気軽に立ち寄れないので、例えば宿泊、食事、ショッピング機能を持った中小規模の客船を停泊中一般公開して複合商業施設として利用するなど。ディズニークルーズの誘致ができるディズニーランドとの相乗効果が期待できる
- ・海を見渡せるレストラン、引退した豪華客船を利用したホテル等、横浜らしさを大切に、地元の事情をよく知る地元の有識者や市民、地権者、業者の意見を取り入れて開発してほしい
- ・山下埠頭に観光大型客船が接岸出来れば更に良い
- ・公共ヨットハーバー（海の駅）を建設し、国際的に開放して、日本の誇るハーバーになってほしい
- ・食・健康、美容・リラクゼーション機能などで最先端のものに触れる
- ・多様な食文化を楽しむことができる場
- ・横浜の「食」を考え、流通の拠点となるような視点
- ・中央市場があるエリアでもあるので、賑わい市場やモール、アウトレット、居住地区を設け、横浜の『食』をテーマとしたエリアにしてほしい
- ・「食」をメインに据えないと人は集まらない気がする
- ・わざわざ足を運びたいような、特別感のある場所にしてほしい（美容・健康増進に効果のある温泉施設や、世界中の美食を楽しめる施設を作る等）
- ・「日本食」「温泉」「自然や四季の体感」などのテーマパークなどにニーズがあるのではないか
- ・フィッシャーマンズワーフのような「食と漁業・農業」の施設があってもいいのではないか
- ・横浜を愛する人たちが老後も健康的・文化的に過ごせる住宅（介護サービス付）を多数・大キボに提供してほしい
- ・都心のみ集中するのではなく、全市に幅広く楽しく健康的な施設の設立をお願いしたい
- ・スポーツを愛好する人を増やし、健康への関心を高めるため、ゲーム性のある色々なスポーツ施設（アスレチックセンター）を建設する
- ・健康と運動をテーマにしたテーマパークおよび実際体をうごかせる大規模テーマパークを作ってほしい
- ・海を見渡せるフィッシャーマンズワーフを造り、ヨット発祥の地を記念してヨットをモニュメントとしてディスプレイしたレストランを建設して、茹でたてのエビ、かに、寿司などの海鮮料理を提供するシーフードレストランを造る

問4 「山下ふ頭の再開発に取り入れる視点」について

【市民意見の傾向（集計・分析結果を踏まえた見解）】

選択肢では、「持続可能なまちづくり」「多様性社会」「実験都市」を選択した割合が多く見られました。

全世代で「持続可能なまちづくり」を選択する割合が多く、20代及び30代は「サブカルチャー」を選択する傾向にあるなど、年代による違いも見られました。

自由意見では、市民への還元に関する意見や防災や環境に関する意見、将来を見据えたまちづくりや税収の確保、企業誘致による産学連携を意識した意見が多い傾向となりました。

持続可能なまちづくり、多様性社会、実験都市といった視点に加え、市民への還元、防災や環境対策の充実、将来を見据えたまちづくり、税収の確保、企業誘致による産学連携などの視点も必要。

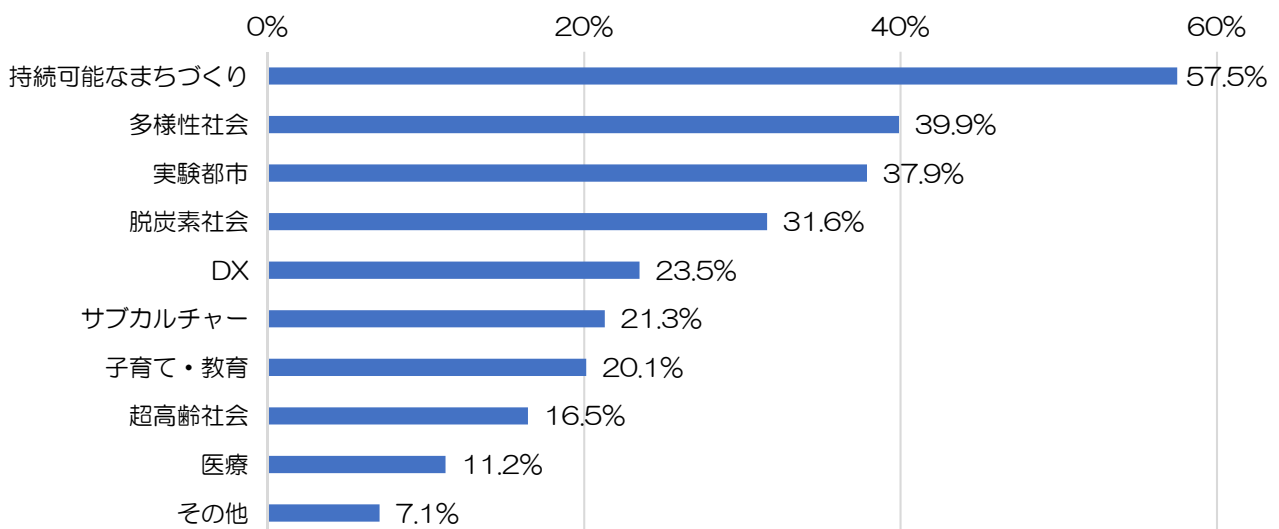
「山下ふ頭の再開発に取り入れる視点について」の選択肢回答（3つまで選択可）の集計結果については、図表 3-17 から図表 3-21 のとおりです。

なお、グラフ横軸の割合は、アンケートによる回答件数のうち、その選択肢を回答した件数の割合を示しています。

(1) 単純集計の結果

選択肢ごとの集計結果では「持続可能なまちづくり」が 57.5%を占めて最も多く、「多様性社会（ダイバーシティ）」39.9%、「実験都市（スマートシティ等）」37.9%、「脱炭素社会（カーボンニュートラル）」31.6%で続いています。

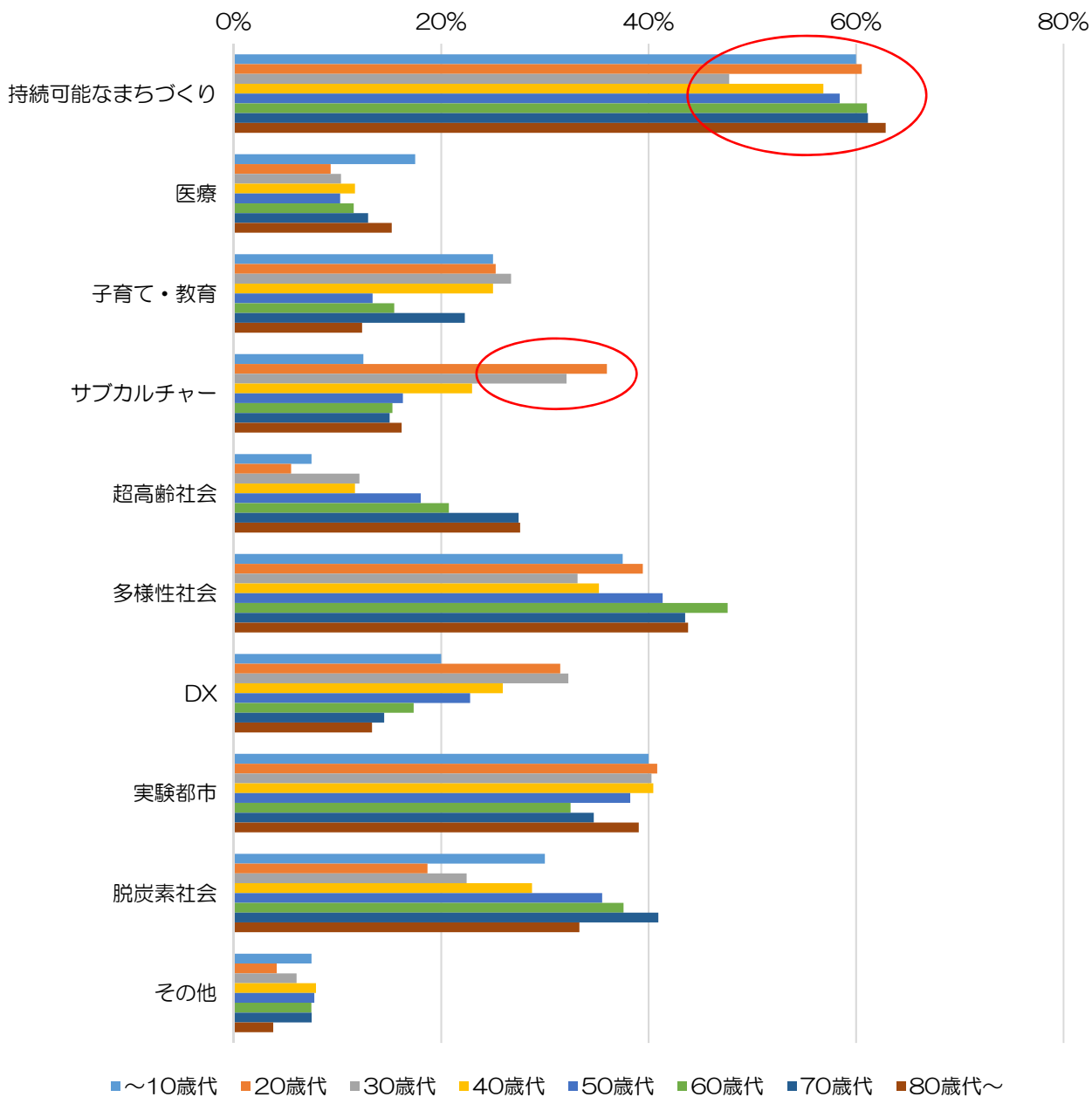
図表 3-17 再開発に取り入れる視点



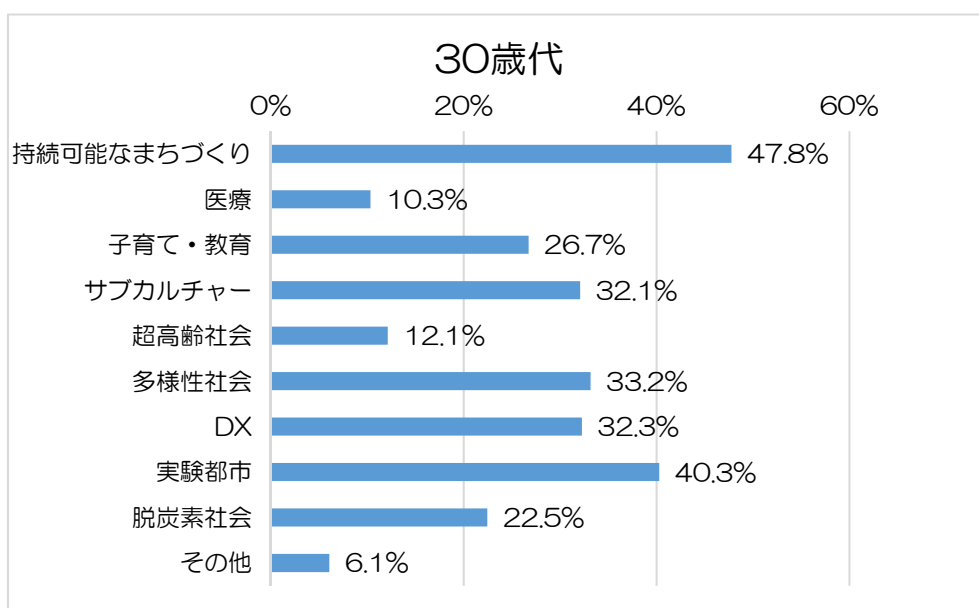
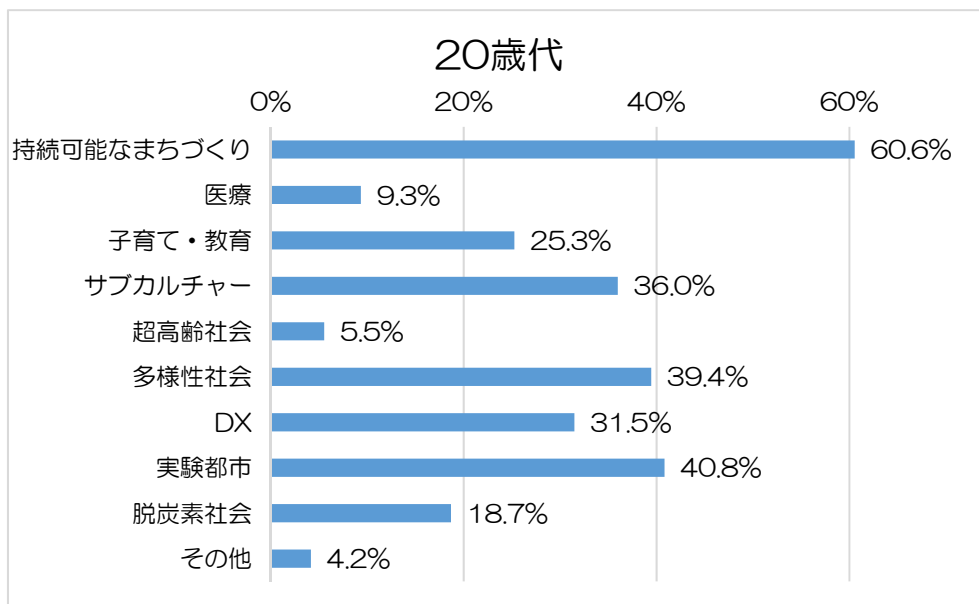
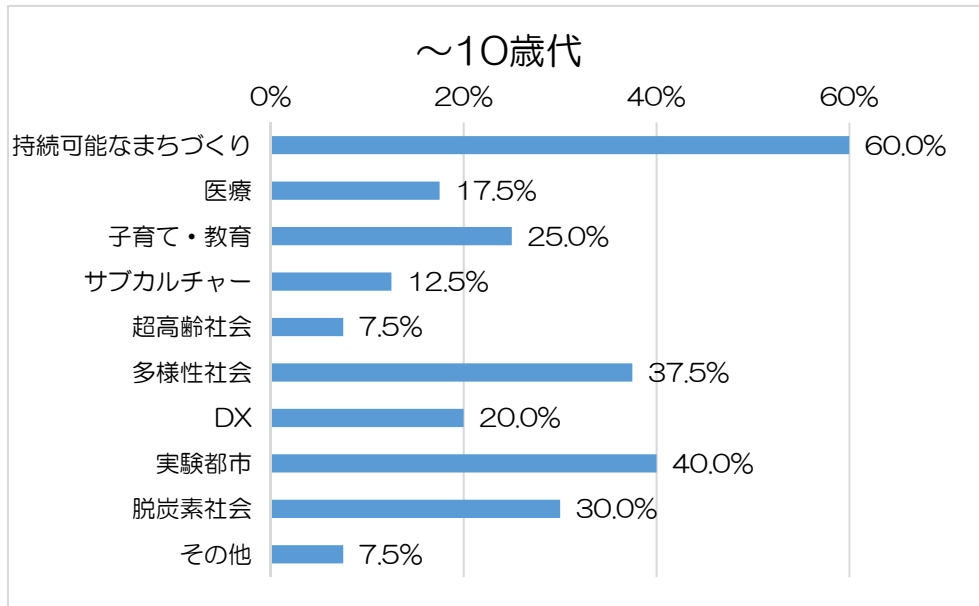
(2) クロス集計の結果（年代別）

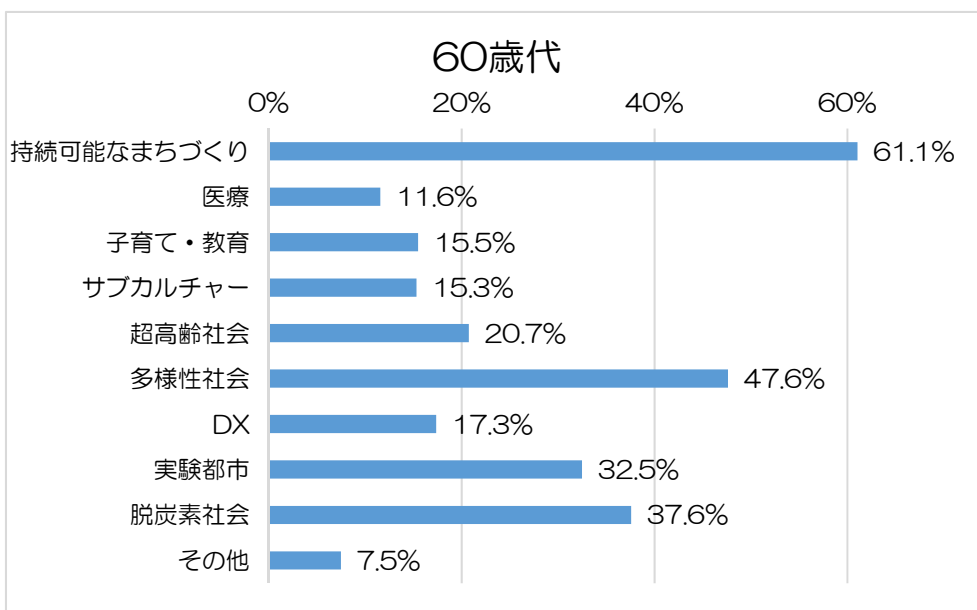
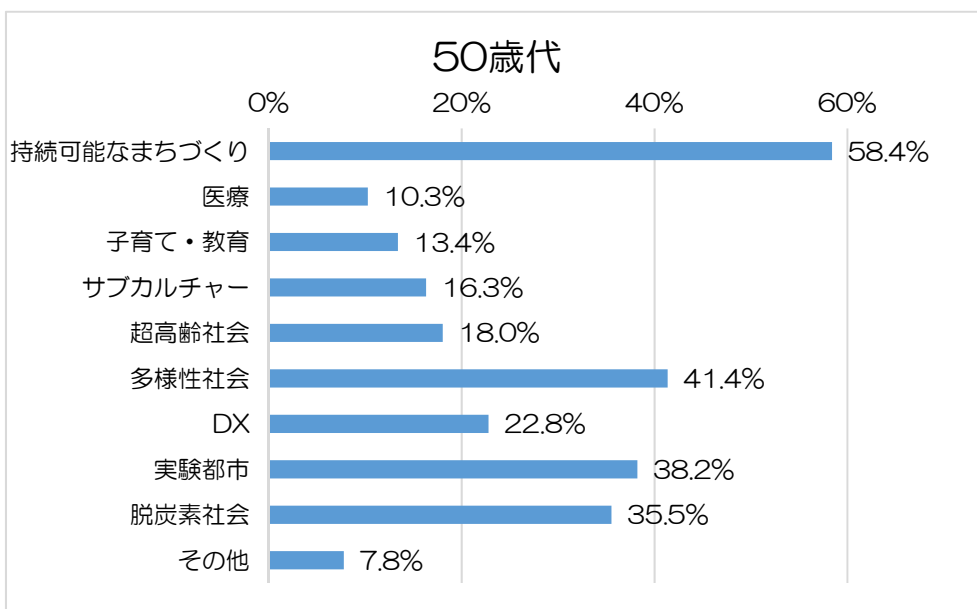
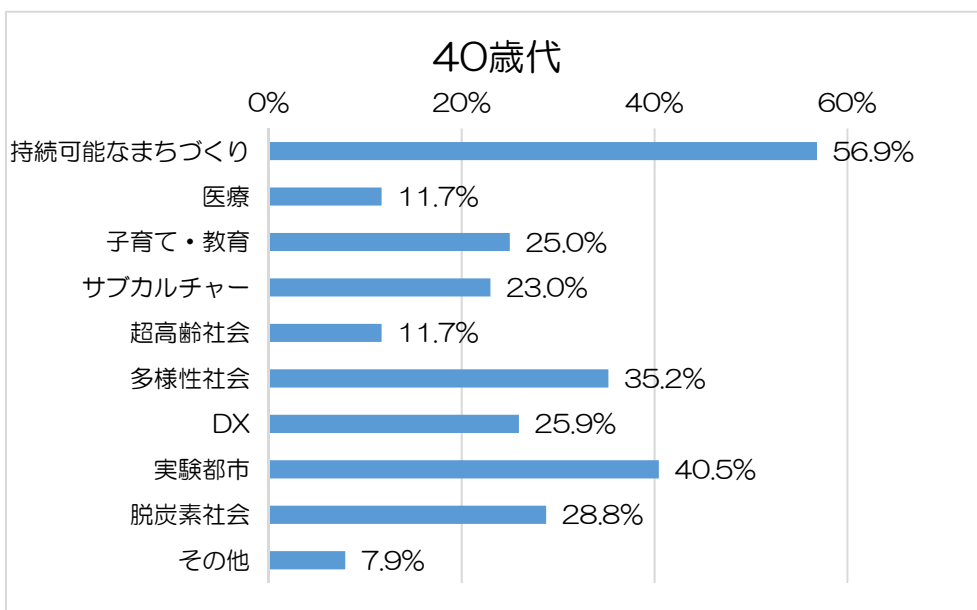
年代別の集計結果では全ての世代で「持続可能なまちづくり」を選択する割合が多く、また、20歳代及び30歳代では「サブカルチャー」を選択する割合が、他の世代に比べて多くなっています。

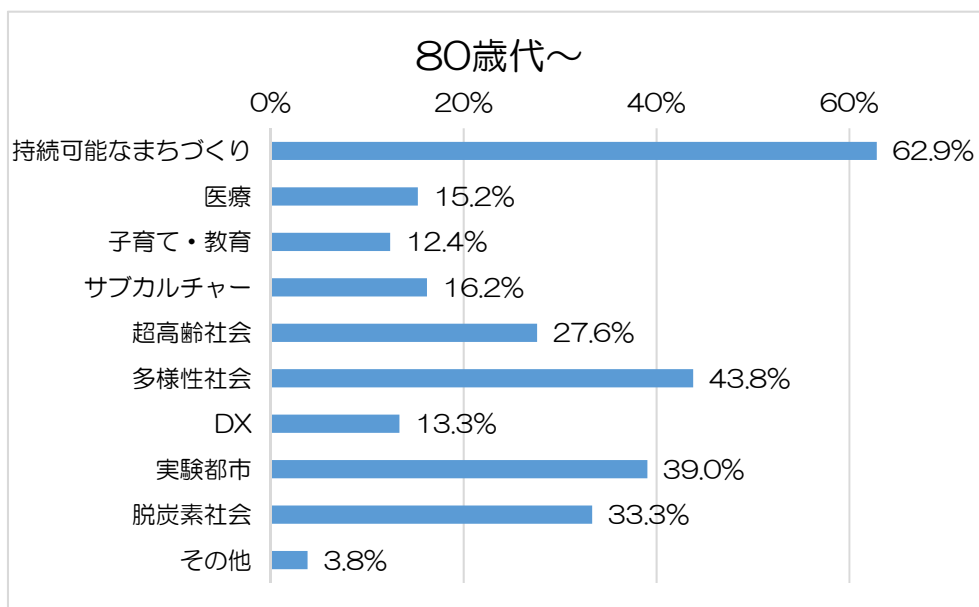
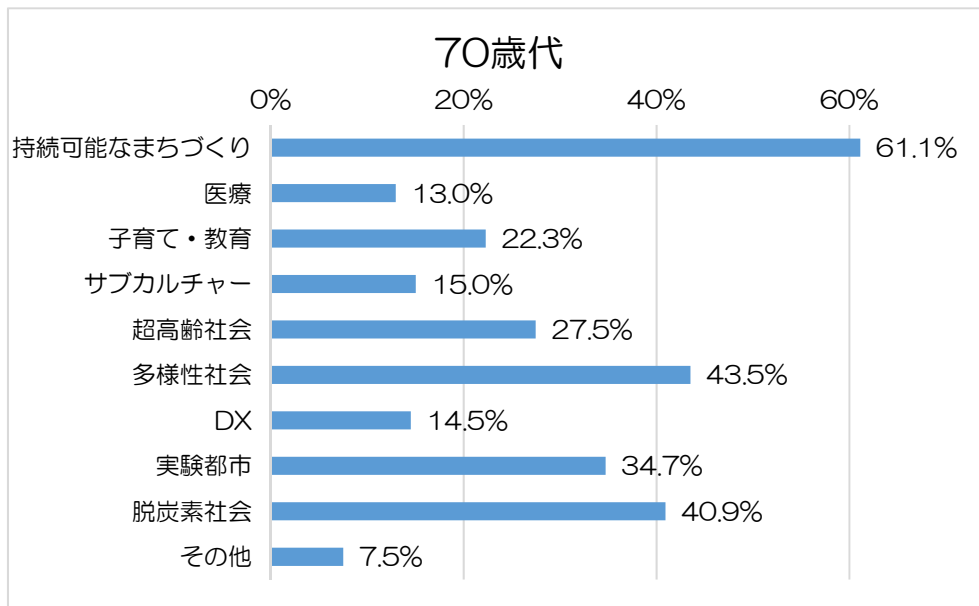
図表 3-18 再開発に取り入れる視点（年代別一覧）



図表 3-19 再開発に取り入れる視点(年代別)



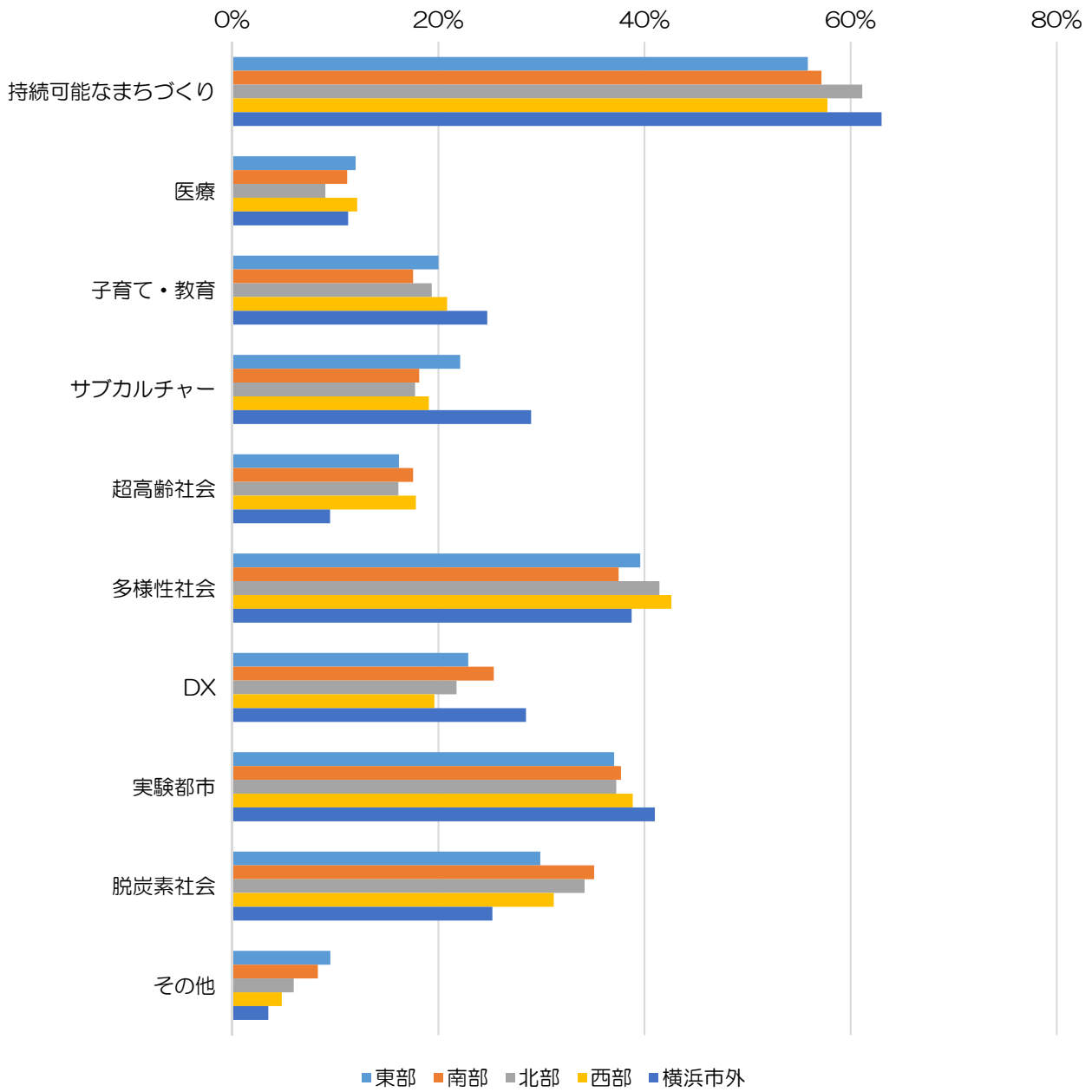




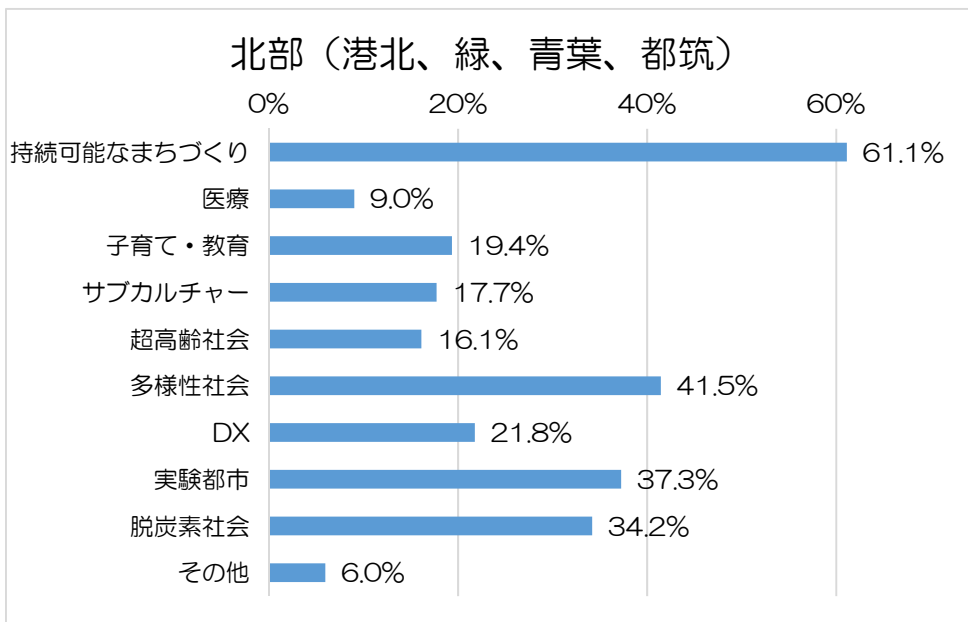
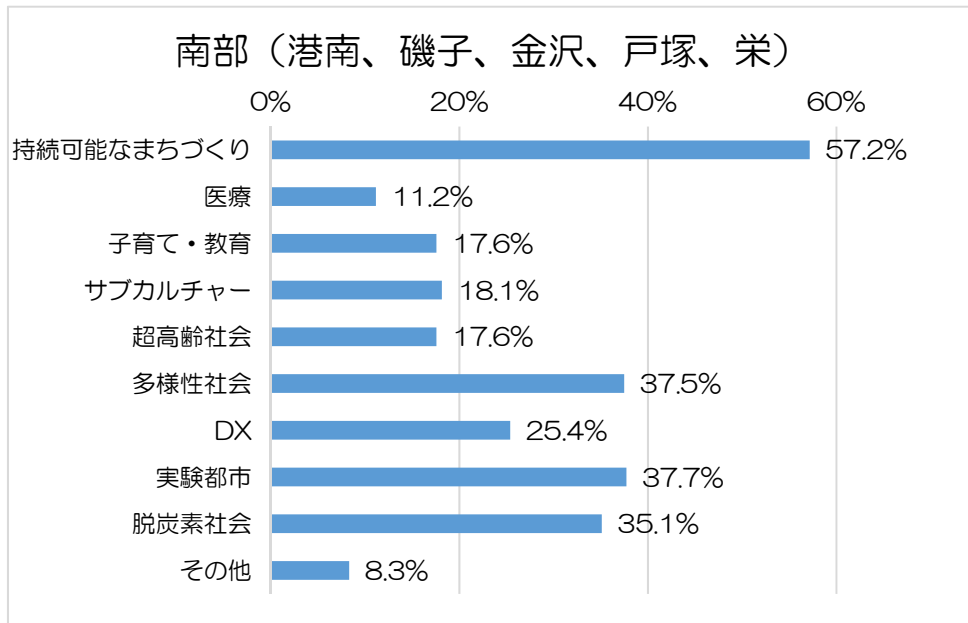
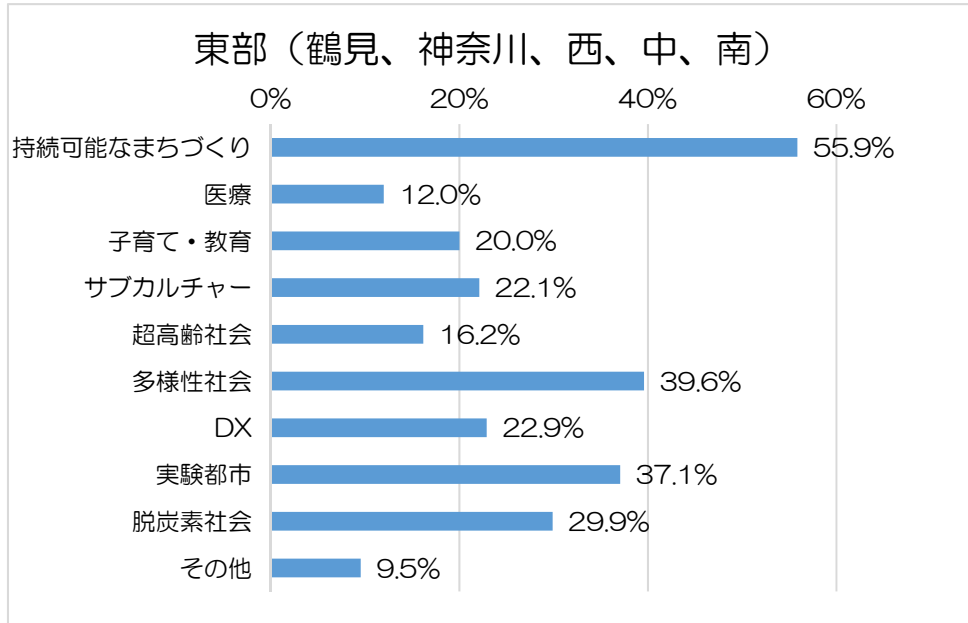
(3) クロス集計の結果（居住地別）

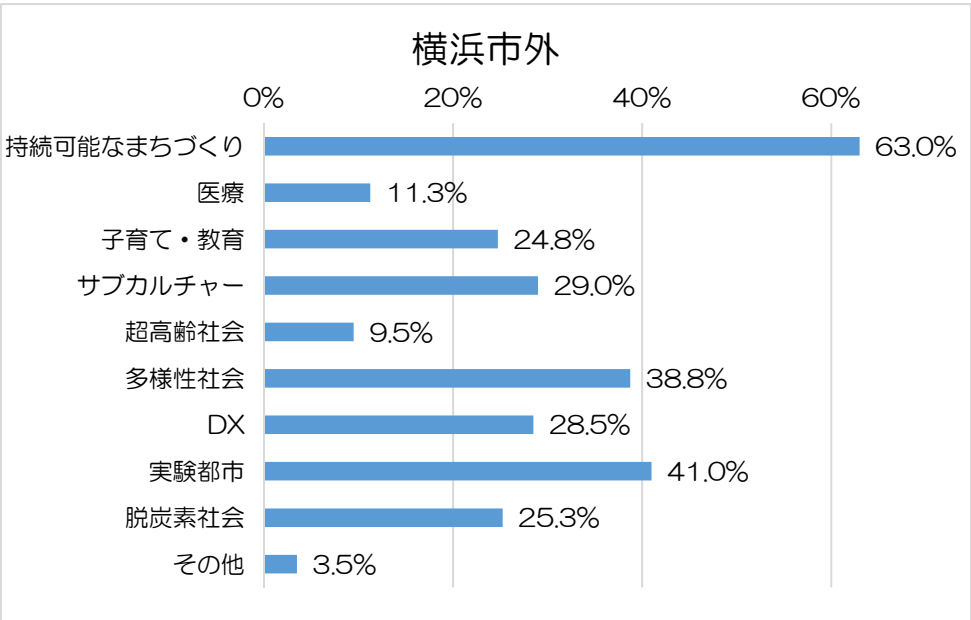
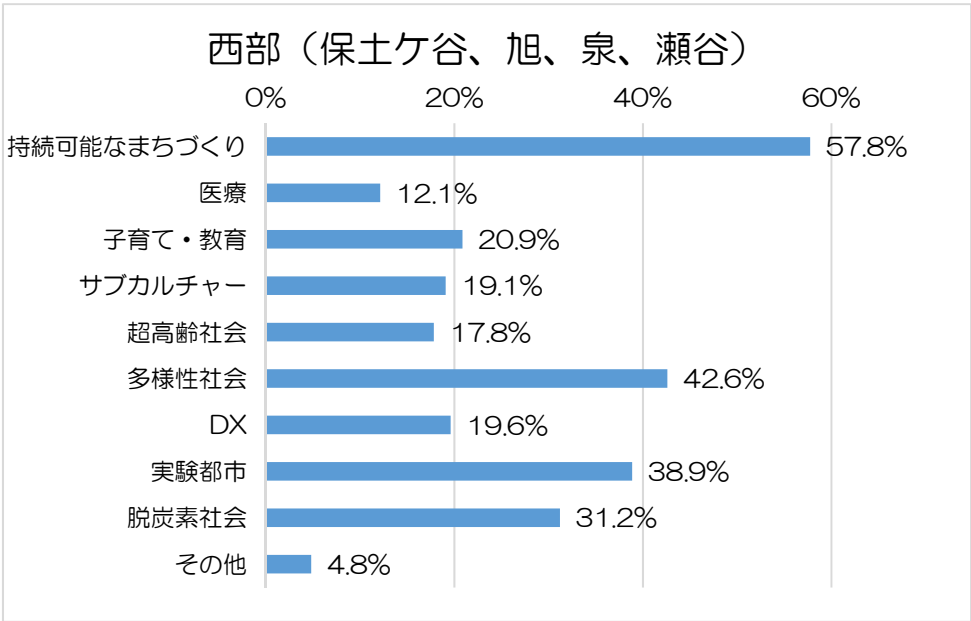
居住地別の集計結果では大きな傾向は見られませんでした。

図表 3-20 再開発に取り入れる視点(居住地別一覧)



図表 3-21 再開発に取り入れる視点(居住地別)





(4) 自由意見の分析結果

分析結果については図表 3-22 から図表 3-23 のとおりです。

「市民」「防災」「将来」「税」「環境」「企業」「誘致」「経済」という単語が多く見られました。

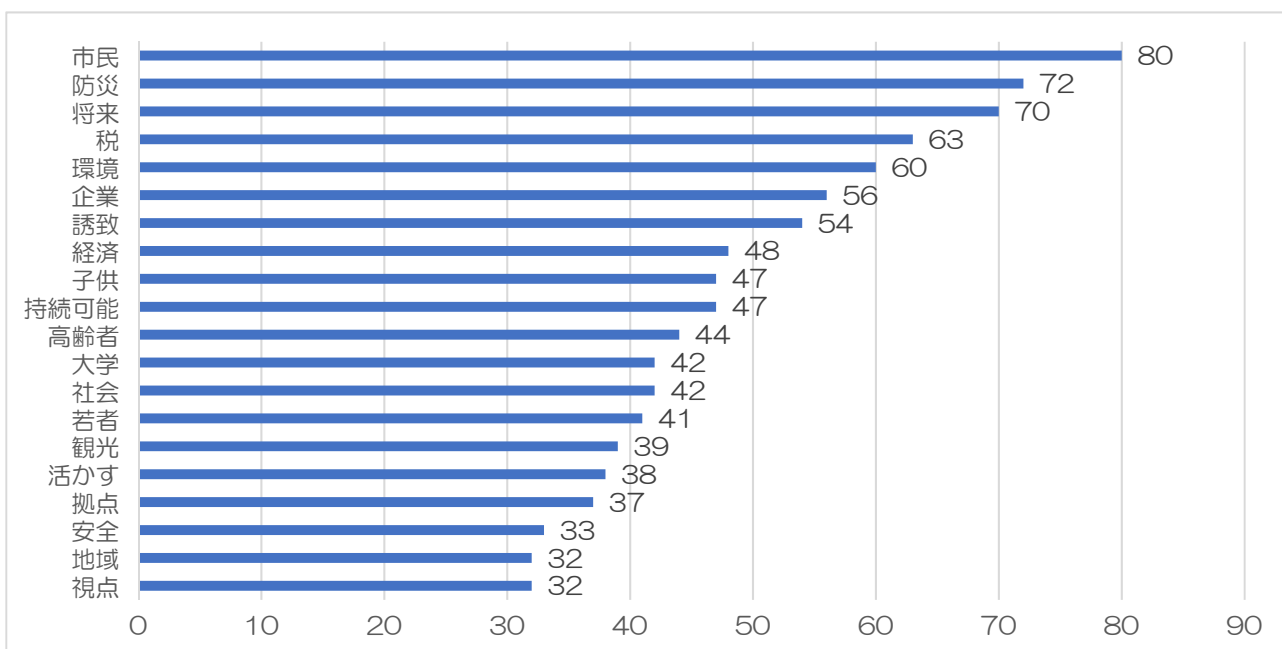
市民への還元を求める意見、災害時の活用や対策など防災を意識した意見や環境への配慮を意識した意見、将来を見据えたまちづくりに関する意見、税収の確保による経済の活性化を意識した意見、企業誘致や大学の集積による連携を意識した意見などが多い傾向となりました。

図表 3-22 ワードクラウド*

*テキストデータを視覚化するための方法、単語の頻度が多いほど、大きく表示される



図表 3-23 文書全体で使われている単語の頻度



(5) 主な自由意見（抜粋）

- ・ゼロエミッション、ゼロウェイスト、サーキュラーエコノミーなど最先端の技術で持続可能な地域を目指して欲しい
- ・サステナブルで健康的で、市民が横浜(日本)を誇ることができ、観光客も訪れるエリアとしての開発が望ましいと思う
- ・美しい景観、海と緑とともにサステナブルに生きる横浜の先進的で洗練されたイメージを崩さないようなできるだけ自然と人間との共生を目指した場所
- ・横浜らしさを失わず、環境に配慮したサスティナブルな街づくりをお願いしたい
- ・持続可能な近未来都市を目指していただきたい
- ・SDGS・持続可能性の積極的励行を提案出来る、地球の未来・子供たちの教育の観点にふさわしい施設が良いと思う
- ・街を育てる、持続可能な長期的視点が今後の都市造りには欠かせないとする
- ・DX、脱炭素、サステナビリティなど流行り言葉に惑わされず、本当に魅力のある街づくりをしてほしい
- ・収益性を考慮し、持続可能な安定した市財政を望む
- ・人口減少の抑制と税収効果を図り、持続可能な横浜経済を実現していただきたい
- ・人口海岸を形成し、そこを起点とした、持続可能なしくみづくり、生き物の再生、人が集まる場所を開発してもらいたい
- ・持続可能な社会の構築というコンセプトを確認して基本計画の見直しから始めるべき
- ・付近の大学、高校を巻き込んで 次世代の海洋都市構想は、非常に夢のある SDGS 活動と考える
- ・SDGs を徹底的に推進していく街づくり、そのような企業には有利な条件で誘致させる
- ・周囲には最先端の医療、学術研究施設をつくり国内外から研究者を呼び入れ、観光だけではなくアカデミックな国際都市を目指して欲しい
- ・ウィズコロナを見据えた医療関係機能
- ・医療ツーリズムを受け入れる
- ・万人の医療と高齢社会に向けて軸に入れてほしい
- ・市大病院の移転先とし、それを核とした医療関係企業などからなるまちづくり
- ・高齢化も進み、コロナ等の新しい形の感染もあり、これから高次に医療が求められると思う
- ・世界から人が訪れるような医療者のトレーニング施設を作る
- ・ワクチン開発や製薬会社、ベンチャー企業などを誘致して医療特区、IT 経済特区にし、海外からの研究者や留学生を迎える受皿作りも再開発としての醍醐味ではないか
- ・横浜市民に対しては、多様性の場として子育て教育、健康にも配慮した施設を建設する
- ・子育てし易い街の象徴となるような、子供を遊ばせられるような、普段使いできる場所にして欲しい
- ・「子育て・教育」の拠点などは収入に結びつかず、長期的な持続性の視点が欠けている
- ・この街に住んで子育てをしたいと思う人が増えるように
- ・シンガポールの「ガーデンバイザベイ」のような植物園だったり、若い世代が遊びに来て、将来、この街に住んで子育てをしたい！！と思えるような場所を作っていただきたい
- ・次世代の子供たちのために、国際会議場、国際交流センター等をつくった場合、必ず見学できる場所、あるいは体験できる場所をつくり、子供たちの教育に役立てたい

- ・英語文化を一定エリアで作ることにより、教育、雇用面でもプラス作用がありそう
- ・どの年代でも学ぶことが可能な「教育」での視点
- ・子どもを育て教育しやすい地区にして、若い人を横浜に呼び込み出産率を高める地域としてインフラなどを整えて欲しい
- ・小中学校等の教育との連携、学びの場
- ・個人的には、これからのアクティブシニアが、ビジネス、エンタメ、アミューズメント、アート、人材交流、リカレント教育などの面で生き生きと魅力的に暮らし、お金を使いたくなる街になる事によって、今の若者にそのライフスタイルや将来像がイメージできるロールモデルが描ける暮らしが見える街になって欲しい
- ・先端的な医療・福祉の施設や、グローバル人材を育成する大学院等の教育機関
- ・子供達が平等に英語を使えるような場所、未来の子供達教育に利用してほしい
- ・日本が世界に誇るアニメやゲームなどのサブカルチャーに関するものもあったらいいと思う
- ・今、動くガンダムがあるのだから、それをこの先も活かして、日本の得意とするところのアニメやサブカルの日本最大級の聖地みたいな物を一画に造っても良いと思う
- ・世界には日本のアニメやサブカルが大好きな方々が大量居るのだから、埠頭という立地条件を活かしてクルーズ船で来て頂くとか、定期的にアニメクルーズみたいな物を計画しても良いと思う
- ・例えば、アニメーションなどサブカルチャーの中心地にしてもよいと思う
- ・高齢者が DX を含めた新たな仕組みや取り組みに触れたり学んだりする機会を提供出来るような街づくり
- ・家族などをはじめ、子どもから老人まで世代を越えて集える場
- ・子供も高齢者にも安心・安全
- ・障害者や高齢者に優しい町
- ・高齢者もゆったり過ごせるよう、徹底的にバリアフリー化を図り、自動運転の乗り物で園内を移動することが可能
- ・お年寄りが楽しめるような場所にしてほしい
- ・高齢者が活躍できるような、楽しめるような場所ができると健康寿命も延びる気がする
- ・今後の年金問題などもあり先行き不安な世の中だが、若い人でなく、高齢者も元気に働ける街として、全国に先駆けて横浜市がこのような構想を実現化するのは画期的な事になるはず
- ・美しい横浜に国内外からたくさんの人々が集い、高齢者も障害者も楽しみながら安心して歩けるような地区であることを願う
- ・高齢者しか使わないような無駄な市民利用施設を造らずに、将来世代に向けて、あくまで収益性を追求した開発を行うべき
- ・開発地域付近は高齢者が歩きにくい街づくりとなっているため、高齢者が外出しやすい工夫が必要だと思う
- ・人種、国籍やジェンダーを超えた多様性
- ・多様性（年齢、国籍、職業などを問わない）や、子どもたちの成長を育む将来性などが豊かな街づくりを公民一体で進めて行って欲しいと願っている
- ・誰かを優先ではなく、年齢問わず、性別問わず皆が心地良く過ごせる事を大前提にして欲しい
- ・どの年代の人も、どの国の人も、性別も関係なく自由に楽しめる場所づくり
- ・マリントワー、ランドマーク、赤レンガ倉庫など美しい街並みを活かした、老若男女、障害者、

ジェンダー全てに優しい国際色豊かな街作りを期待する

- ・ダイバーシティにもつながりますが、国際都市として、多様な海外の方々の流入を見込んだ投資の呼び込みが重要だと思う
- ・山下ふ頭ベースプランを基本として、港湾の施設（リアル）とDX（デジタル）を組み合わせた先進的な横浜らしい「みなと」を整備するとよいと考える
- ・DX、スマートを実験できるエリアを設定
- ・観光客や子供達に未来の夢と希望を与える教育とエンターテインメント、デジタルアーカイブ関連作業を育成、官産学のDX関連専門家育成にも活用し、国際文化観光都市横浜にふさわしい未来のレガシー構築、パイオニアを目指し拠点を整備する
- ・スマートスタジアム、自動運転交通機関、デジタル化された決済システム、5Gより速い次世代通信、言葉の壁を感じない翻訳システム、子供でもお年寄りでも優劣のない仕組み（交通、段差のない歩道）、保育所完備、手軽な物流、ロボットの導入、セキュアな認証、災害に強い街、データ収集と活用）など様々なものを取り込むエリアにする
- ・中小企業が容易に使えるイベント会場や常設展地場をつくり最先端技術やロボットなどの製品の展示、海運歴史博物館、体験施設も併設 既存建物を活用してスマートシティーやSDGs、Society 5.0などの実験都市・体験都市を作る
- ・今まであまり横浜の街並みでやってこなかったが、すでにガンダムやエグザイルカフェで成功している若者向けコンテンツと、新しい実験的試みのカーボンニュートラルやSDGsのパilotプロジェクトが山下埠頭に合っていると思う
- ・主に内港エリアに集積している企業、大学、アーティスト等が様々なアイデアを社会に実装していくために使える実験都市が良い
- ・トヨタが東富士で実施している Woven City のような、外の住環境と完全に隔離した実験都市の実現
- ・完全自動運転専用、EV専用（バスなども含む）実験空間としての機能都市の構築
- ・先端技術を使ったDXを使った実験都市
- ・横浜発祥のものを、再び新しく開発できる場や実験場を作る
- ・入口が狭く、海に囲まれているので、セキュリティが確保しやすいコト、住居が現状ないコトから、横浜（世界）で問題になっている問題解決の研究、実験フロンティア地区を創ってはどうか
- ・企業がやってみたい先端技術を実現させる実験地域 企業にお金を出してもらって実現したいものを特区と法的な規制も緩和して小規模でも実現させる
- ・EV自動運転を使った交通システム導入と太陽光発電による水素生産による水素社会の実現を目指した実験都市の設置
- ・共創主義のプレーヤーをいかに呼び込めるかが大切であり、インスピレーションとアーティスト・クリエイター等の共創相手が近接し高密に集積する環境を山下ふ頭で実験的に展開する
- ・港湾都市の豊かな発展のための安全を考え、実証実験する場として、世界初の「海面上昇対応都市」のプロトタイプ街区として位置づける
- ・みなとみらい地区では研究開発施設が集積しているので、山下ふ頭においても様々な最先端技術や企業連携の実験ができるエリアを設けてほしい
- ・最新の技術を導入しスマートシティーの実現を目指して欲しい
- ・スマートモビリティの導入など先進的な取り組みを期待

- ・持続可能、ダイバーシティ、脱炭素はマストだと思う
- ・「脱炭素」「再エネ利用」などの先進性を横浜より発信したい
- ・世界さきがけの脱炭素、再エネ利用地区
- ・電動アシスト自転車、セグウェイなど脱炭素移動車で街を楽しむのは良いと思う
- ・脱炭素社会に向け、再生可能エネルギーの拡充をすすめるとりくみを期待する
- ・環境に配慮したスマートエリアとして、脱炭素化を目指した循環型エネルギーの活用、緑地の導入、防災センターの設置をしてほしい
- ・海という自然の影響を受けやすいこの場所だからこそカーボンニュートラルを意識した街づくりを発信していつてもらいたい
- ・先進的なカーボンニュートラルの取組がなされるといいと思う
- ・CNP による陸域のカーボンニュートラル化の創出拠点として先進技術の研究開発、実証の場所となることを期待する
- ・横浜の「都市デザイン」の理念が活かされること、その理念が市民主体で市民のための都市づくりを目指すものであることが大切であり、地域の市民が積極的にまちづくりに参加できるような仕組みの構築をしながら進めてほしい
- ・市民全体の生活の向上に寄与する場としてほしい
- ・環境・自然・文化・歴史・持続可能性、多様性に彩られた街づくりにむけて市民の英知を結集する場をつくってほしい
- ・市街地の商業の活性化され、横浜市収入が増え、市民へのサービスレベルの向上を図ることができること
- ・市民の経済的メリットも享受できるような開発にしてほしい
- ・これまでの横浜の都市づくりに関わってきた人々、人材の知恵と力を最大限生かし、地域で活動する市民が積極的にまちづくりに参加できるような仕組み作りが必要である
- ・人間中心の都市、持続可能な環境、人材・知財を活かす社会、文化芸術創造都市の展開、市民社会の実現等を具現化する企画を期待したい
- ・市民が利用者だけでなく当事者になる仕掛け、市民誰もがメリットを享受できる場とすることが重要
- ・日本の防災技術を結集し、打開策創出の研究と実践を継続的に目指すことで近未来のオーシャン・フロント都市「横浜」を実現する
- ・大災害時援助受入拠点など普段は楽しめて、有事に防災最前線基地の視点
- ・大規模災害（大地震、津波等）に備える都市
- ・建物などは災害や緊急事態に対応出来る作りで有ることは大変望ましい
- ・防災機能（万一のとき、災害対策や避難民支援の拠点となるような設計）
- ・大規模災害などに備えて、大量の避難民を収容できる施設もぜひ作るべきだと思う
- ・大規模な災害が発生した際の海上交通を利用した市外への避難拠点、または他の被災地からの海上交通を利用した被災者の受け入れ拠点（医療体制・仮設の滞在施設等が設置できるよう発電、上下水道等のインフラ整備）
- ・子ども・未来・持続可能社会をめざす
- ・将来の横浜の経済基盤の育成もぜひ
- ・将来世代に禍根を残さないでほしい

- ・横浜市に限らず日本が人口減少に転ずる中で、健全な財政を保ち、未来の子ども達の負担を減らすには、海外からの投資の呼び込みが必要
- ・再開発資産が 50 年後 100 年後どう評価されるのかの視点も加え、横浜らしい先進的で品格のあるセンスの良い財産を未来の人々に引き継いでいってほしい
- ・ライフサイクルコストをよく考え、将来減少していく税収に見合った、最小規模で維持可能なものしか作らない、という視点も、そろそろ必要
- ・子どもたちの思い描く未来が、未来の現実の横浜市であってほしい
- ・将来財政負担をすることになる、若者層の意見をもっとくんであげてほしい
- ・将来に向け、市全体に大きな収益をもたらす仕組みと施設を望む
- ・山下ふ頭の開発は、横浜の将来を担うインパクトがあるので、次世代を担う若い人たちの意見にもっと耳を傾けるべき
- ・未来を担う若者や子どもを中心とした視点が不可欠
- ・国内外を問わず、住民税に頼らず、来場者を通じて高い税収を得られる都市
- ・市税が足りない中、税収あげる開発
- ・維持管理費のかかる箱物施設は、今後の税収減を考えるとさけるべきと思う
- ・事業がうまく軌道にのり、事業所を横浜市内にかまえてもらえれば、横浜市の税収アップにもつながるのではないかと思う
- ・税収を上げて継続的な開発と市民への還元、子供への投資をして発展を目指してほしい
- ・税収の多くを個人市民税に頼る構造を大きく変えるために、民間事業からの増収へ構造転換すべき
- ・山下埠頭の開発には税金を使った開発はやめて欲しい
- ・横浜が他の都市に埋もれず存在感を維持し続けることで人や企業を引き込み、長期的に税収を確保して市民に還元することが必要と考える
- ・横浜市の税収増に資するような活力ある場になって欲しいと思う
- ・市の税収確保や健全な財政を維持できるような事業スキームとすべき
- ・優良企業を誘致することにより、雇用が安定し周辺地域での消費も増えると思う
- ・市と参加民間企業・大学で協議会を創り、国・県・経済団体の支援を得て整備運営主体の法人化を行い、協賛資金等を確保して早期に事業化する
- ・市大医学部を誘致して、関係企業を集積する
- ・誘致した大学に対して、若者の知恵とアイデアを披露する情報空間を提供し、スタートアップを支援する
- ・本社機能誘致、消費拡大を目指すべきであり、特に山下埠頭だけでなく周辺部に波及する効果を期待すべき
- ・大学、大学病院・研究機関などを誘致して、学園都市のようなアカデミックな構想を願っている
- ・アフリカ諸国の産業・教育を支援し、留学生の受け入れや国家の出先機関の誘致などを推進してほしい
- ・せっかく研究開発施設や大学が集積しているので、アジアのシリコンバレーを目指して更なる連携の促進や誘致など取り組みを進めてほしい

問1から問4に当てはまらなかった意見について

問1～4のいずれにも当てはまらなかった主な意見（抜粋）は以下のとおりです。

- ・横浜は「横浜市歌」のように港を中心に栄えてきた歴史のある街である
- ・いまコロナワクチン問題や最近の地震が多いことに大災害などの対策について心配している方々が多いと思われる
- ・日頃行かない所、でも若い時には行った臨海部、ずい分海水面が変わった
- ・山下ふ頭は市民の大切な財産である
- ・横浜は街と海（港）の距離が適度に近く、都市型（ハーバー）リゾートとしての高いポテンシャルを持っていると思う
- ・ヴェネツィアの歴史と発展が参考になると思う
- ・横浜は日帰りの観光客が多いと聞いたことがある
- ・山下ふ頭は現在でも上屋や倉庫が立地しており、良い意味で港らしい雑多な雰囲気を持っている
- ・他の港湾都市での巡演も可能な催し物を企画するのも良いと思う
- ・気候変動の対策は生物多様性保全を脆弱化させるものもあるが、生物多様性保全の対策は気候変動対策にも有効とされる
- ・横浜市は超高齢者の高齢化都市になってしまった
- ・現在の社会情勢から鑑みると、労働による給与や老後の年金では将来の資金が賅えないと騒がれている
- ・人を呼び込む事で都市設計するのはおかしい
- ・これからの時代、リスクばかり追求していても課題解決にならない
- ・子供達は未来を知ること、将来の夢を描くことができる
- ・経済のグローバル化において安易に海外の安い労働力を求めて工場を外国に移転したため、日本国内では生産が減少し、産業活動は空洞化した
- ・海外では多くの港にヨットハーバーがあるのに比べ、日本は海洋国であるのにヨットハーバーが非常に限定されている
- ・VRが進むと50年後には触感や嗅覚も疑似体験可能になっているだろう
- ・理念なき都市開発は、雑居ビルの街を作るようなもの
- ・横浜市の企業のほとんどは中小企業であり、中小企業がイノベーションに取り組むには技術が必要
- ・近頃の行政のつくる施設は国立競技場などその後の活用を考えていないように感じる
- ・横浜は開港以来、様々な文化を受け入れてきた日本で最も先進的な街で誇りに思う
- ・山下ふ頭の再開発は都心臨海部の更なる魅力を高める為に最も重要な事項
- ・臨海部全体を網羅した計画が必要なのではないか
- ・トライアスロンのスイムをこの地域でやっていた際に、この海は泳げる場所であったと認識を直した
- ・旅客船入出港の少なさは寂しさを感じる
- ・抽象的な設問が多く回答がしにくかった
- ・コロナ後は世界各国から観光船が殺到すると思う
- ・現状の横浜には、京都のような歴史遺産はないが、その他はすべて揃っている

- ・実現可能な計画実施を希望
- ・必要な情報を公開して行くべき
- ・50年100年後に地球はどのように変化しているかを予測するのがむずかしい、きっと海岸線がまた昔のようにもどるきもする
- ・私にはこれからの世代の人の為になる横浜の港、特にお金を生み出す方法が思いつかない
- ・山下ふ頭は、三方を海で囲まれ、対岸との間に橋梁・トンネルもないため、アクセスを改善しようもなく、集客には極めて条件が悪い
- ・今はどこに行ってもスケボー禁止、キャッチボール禁止、公園は殆ど危ないからと禁止している
- ・都心部ではどこに行っても同じ内容、店舗などの施設が多い気がする
- ・全ての歩道橋にエレベーターを
- ・山下との空港アクセスは東京都心よりも明確でなく、現行の横浜駅の混雑や高速道路の混雑を見ても良好とは言えない
- ・市民意見募集では事業性の観点をあまり考えずに市民の皆様方は意見・提案をしようと思うので、私は同時に行われている事業者提案募集に期待する
- ・このアンケートが実施されていること自体が、まだ市民の共通認識が形成されていないことを感じさせる
- ・市の経済基盤を外貨（観光客による収入とか）で稼ぐというマインドではなく、横浜市民自ら経済を回し市政は、市民に還元する内需的なサイクルがうまく回ると、市民としては嬉しい
- ・「横浜」の魅力とは何か？ 市民が納得できる施策を望む
- ・市民、住民の意思を確認することが肝要
- ・市民利用などを考慮すれば一般市民からの賛同は得やすくも、国際貿易で発展して来た肝心の横浜の強み弱体化にもつながり兼ねない
- ・計画が変わった山下埠頭については、早めにイメージがわくようなものが示されるとありがたい
- ・横浜は日本でも有数の都市計画を実行してきた実績がある
- ・埋め立てを行なってまで再開発の必要性を感じない
- ・今後、人口が減り行く日本だが、街を発展させるには、人は必要
- ・まず、間違っているのは現在の社会情勢を踏まえようとしている点
- ・今検討したところで、良いプランになるとは思えない
- ・真に市民のためになる施策が、市政の役割であると考えてる
- ・横浜の将来の在り方に関わる大きな問題であるため、今回のワークショップだけでなく、幅広い市民の参加をした討論の場を何回も開き、地元業者も含めた市民参加で計画を検討する必要がある
- ・多様性が騒がれている中で、日本人は周りと同じ考えに美徳を感じていたり、空気を読んで周りに合わせるという考えが多い気がする
- ・コロナ禍で海外観光客にPRしづらかったのが非常に惜しいと思う
- ・ゾーニングありきでは市民の意見を有効に聴こうという姿勢が欠如している
- ・事業者提案を受けることなく、市民意見募集を改めて前置して行ってほしい
- ・開発ばかり行ってどの地域もダメになれば共倒れになるばかりか、しわ寄せが起こる
- ・山下ふ頭の倉庫群が取り払われて、港の見える丘公園からようやく港が「よく見える」ようになった

- ・日本が経済的にナンバーワンの時代なら理解できるが、横浜市民の方に負担が大きいのではないか？ 今でも横浜は十分に魅力的である
- ・是非、IR 誘致を再検討してもらいたい
- ・横浜ならではの、港町を活かし海外から人が集まるような IR 施設などの開発をして欲しい
- ・山下埠頭の開発については、IR 誘致は今後の横浜市発展の上では必ず必要だと思う
- ・IR は横浜を再生させるために必要
- ・行政改革も一向に進まない中、せめて収入を増やす策として金を落としてもらうことを前提に考えた統合型リゾートの開発が必要
- ・IR 計画がなくなり良かった
- ・山下ふ頭には、絶対にカジノ IR は反対
- ・なぜ、IR を市民が反対したと判断したのかがわからない
- ・間違ったイメージで横浜市経済に寄与する計画を頓挫させてしまうことなく、正しいイメージを持って再度横浜市経済に将来に渡って寄与する「カジノを含む IR 構想」を検討すべきである
- ・市民が IR およびカジノを反対した理由は、ギャンブル依存症や治安悪化を懸念するだけでなく、これ以上の開発を望まないからではないか
- ・IR を中心としたコンベンションやエンターテインメントは非常に期待値が高いと思うし、横浜市だからこそ成し得ると考える
- ・IR 無しで大きな税収を見込めない開発は必要なし
- ・カジノや関連商業施設を呼び込む、IR 事業をやれば横浜市税収も上がると思う
- ・いずれにしても、IR 案が廃案となり、とても魅力的なプランと変わっていてとても期待している
- ・IR が頓挫したのならば、開発を急ぐ必要は無いと思う
- ・IR とリゾートで集客して、周辺地域に周遊してもらい賑わいを作り出す起点
- ・IR 誘致くらいのインパクトがなければ、国内での都市間競争から徐々に取り残されていく。IR 誘致を再考すべきであるし、一部の声の大きい反対者に惑わされずに、将来を担う若い人たちの声に耳を傾けるべき
- ・IR 誘致の取組を振り返るのが先である
- ・せっかくの一等地なので、カジノがなくても人は呼べると思う
- ・カジノ案が否定される理由の大部分が治安の悪化やギャンブル依存症などであった
- ・誤解があるようで大変残念だが、カジノはフォーマルドレスで参加して非常にゴージャスなものだった
- ・民意を持って見直しの機会を得たので、カジノ寄りの施設から対局にある方向での検討を望む
- ・横浜は国際的な認知度が極めて高く、また、横浜の文化や歴史に精通していれば、カジノは全く必要ないと思われる
- ・カジノが撤回された事は喜ばしく大変評価している
- ・カジノよりも税収が見込める事案が作れないのであれば、カジノを再検討すべき
- ・カジノは他の都市との差別化として良い案だったと思う
- ・カジノは治安の悪化やギャンブル依存症への影響があり、市民の安全が脅かされる懸念があるので、計画が廃止になりよかったと思う

インターネット入力フォームや専用はがきによらない形でいただいた意見

インターネット入力フォームや専用はがきによらない形でいただいた意見については、自由意見の一つとして扱い、分析の対象としていますが、様々な観点からの意見をいただいているため、意見のタイトル等を掲載します。ただし、非公表を希望している意見は掲載していません。（五十音順）

- ・あおばコミュニティ・テラスで行ったワークショップを踏まえた提案
- ・アスレチックセンターを設置して運営する
- ・カジノの跡地について
- ・カジノ廃止による、山下ふ頭の再開発案
- ・関内・関外の歴史地区に横浜ゆかりのシドモア桜植樹の提案
- ・近代的冷凍庫基地を検討してもらいたい
- ・クリーンエネルギーセンター
- ・現在の景観破壊のみで景観保全を大事にしない横浜市の対応に再考を伝えたい
- ・公約に掲げた3つのゼロについて
- ・子供の為とか、病人の為とか世のためになる、施設を作って下さい
- ・産業用太陽光発電システムのご提案
- ・市大移転で横浜の未来を
- ・世界最大の国際展示場 大規模洋上空中庭園一体型
- ・先日、横浜市の副市長が4人になったと知り、国際関係を充実させていたく、手紙を書きます
- ・提案書／内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発
- ・内港地区（インナーハーバー）と山下ふ頭に関するマスタープランについて
- ・内港地区・山下ふ頭に関するマスタープランについて
- ・内港地区・山下ふ頭の再開発について
- ・内港地区の将来像、山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に向けた意見
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発 についての意見
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発について
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発について 提案書
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発についての意見
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発に関する意見
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発に係る意見募集
- ・内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発の意見とアイデアについて
- ・内港地区の将来像と山下埠頭の再開発の提案
- ・内港地区の将来像に関する提言
- ・「内港地区の将来像」と「山下ふ頭の再開発」についての意見
- ・「内港地区の将来像」と「山下ふ頭の再開発」についての質問及び意見交換会への要望
- ・「内港地区の将来像」と「山下ふ頭の再開発」への意見
- ・「内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発」についての市民意見の応募
- ・「内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発」に対する意見書
- ・「内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発」市民等の皆様からの意見募集に対する市民意見
- ・「内港地区の将来像の検討」と「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定」に向け「山下ふ頭再開発について」意見とアイデア提案を応募させていただきます
- ・東神奈川地区等にハイブリッドインターナショナルスクール設立のご提案～国際教育の充実に向

けて教育特区の設定～

- ・再び民主主義が問われる
- ・防災&防疫に役立つ『エデュテイメント型・遊園地』を開発する提案書
- ・三ツ沢公園の新スタジアム計画について
- ・未来の子供達の為になるものを開発して頂きたい
- ・山下ふ頭、カジノレジャーに代わる代替案なら、やはり ベイスターズの新球場横浜ベイドームしかない
- ・山下埠頭と内港地区の埋め立て再開発の概要
- ・山下ふ頭における「横浜開港英語パーク構想」のご提案
- ・山下ふ頭の活用法
- ・山下ふ頭の再開発について 【基本姿勢】「知」を軸にした横浜市の新展開を願って
- ・山下ふ頭の再開発に関する市民からの一提案
- ・山下ふ頭の再開発に対する意見
- ・山下ふ頭開発基本計画 New Yokohama 構想
- ・山下ふ頭再開発について
- ・山下ふ頭再開発に関する意見書
- ・山下ふ頭再開発に伴う e スポーツシティの構築に向けた提言書
- ・山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に向けた取組に関する要望について
- ・山下ふ頭再開発も「市民の視点」で検討してほしい
- ・山下ふ頭再開発案 はいからランド
- ・山下ふ頭再開発検討ワークショップへの提案
- ・山下埠頭 IR について
- ・山下埠頭の活用について
- ・山下埠頭の将来的利用について
- ・山下埠頭の提案募集について
- ・山下埠頭再開発
- ・山下埠頭再開発・市民意見
- ・山下埠頭地区の再開発についての提案～クリエイティブリユースを拠点とした～アートネックレス計画
- ・山下埠頭地区の再開発案
- ・「山下ふ頭」再開発計画に対する意見の申し入れ
- ・＜山下ふ頭の再開発についての意見募集について＞
- ・山中市長への提言
- ・ヨコハマドリームランド
- ・横浜・山下ふ頭周辺の開発計画「日本庭園」を作る
- ・横浜 IR について。中区山下埠頭（IR みなど）再開発について
- ・横浜 IR 代替案
- ・横浜国際デジタル博物館構想
- ・横浜内港域の将来像についての提案と要望
- ・5つの提案をカジノ予定の跡地利用として提案します
- ・IR 区域に創る設備